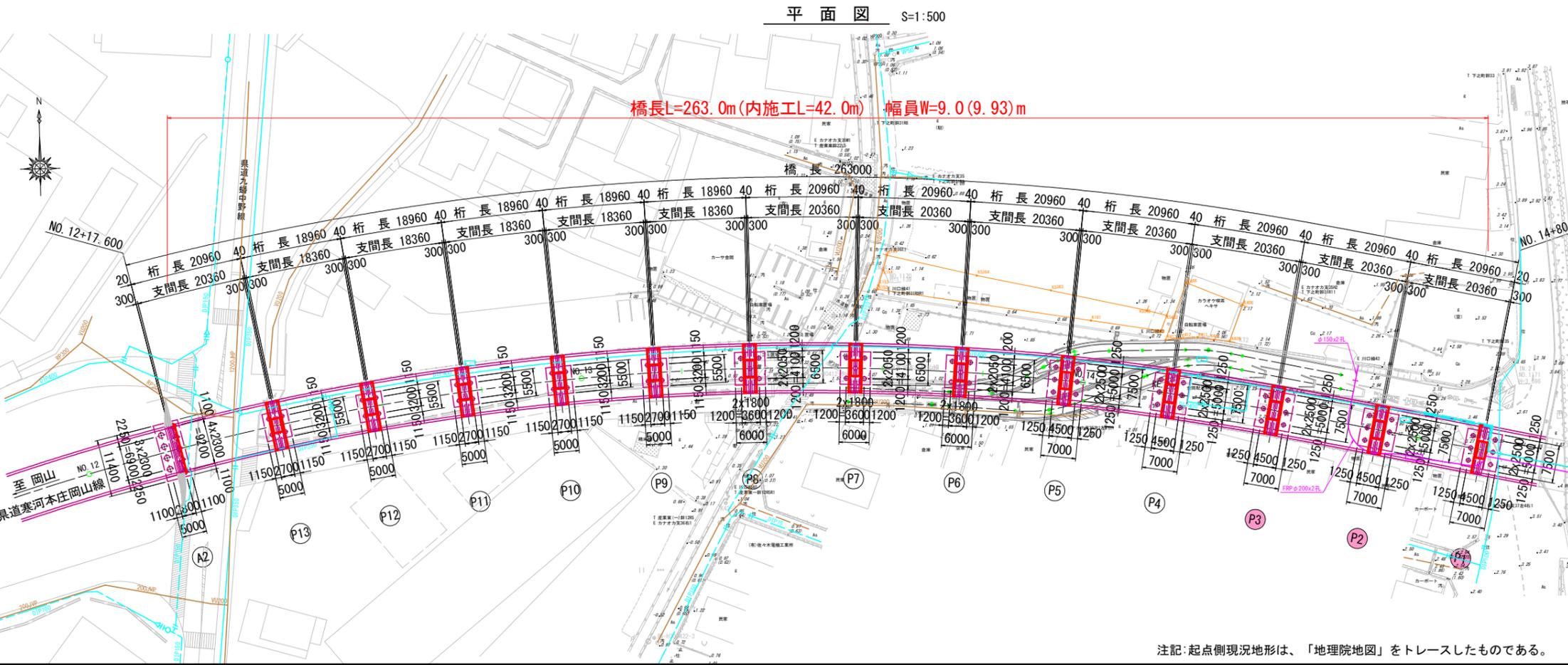
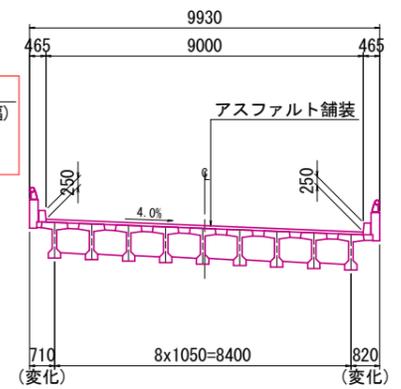
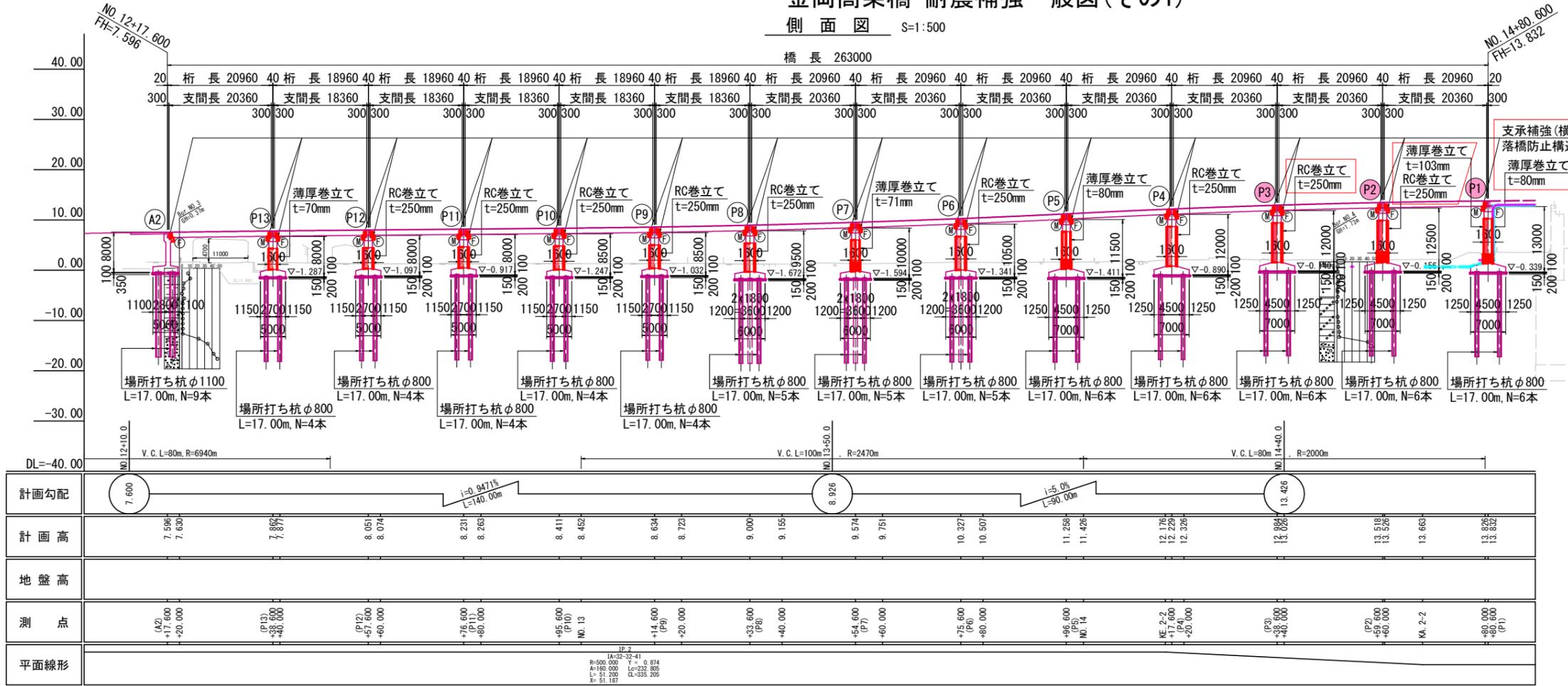


金岡高架橋 耐震補強一般図(その1)

側面図 S=1:500

断面図 S=1:100



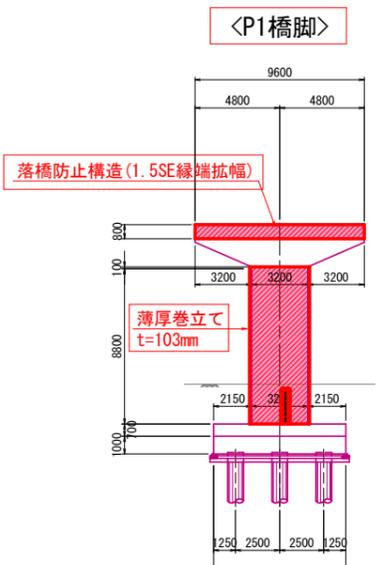
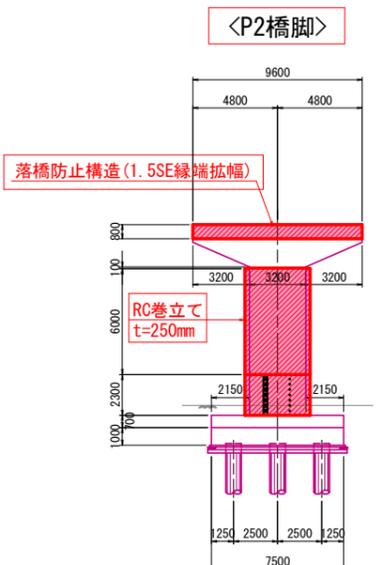
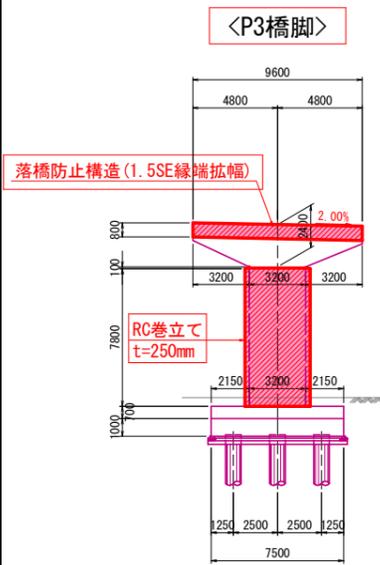
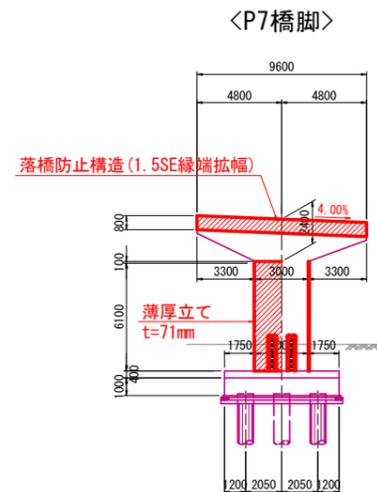
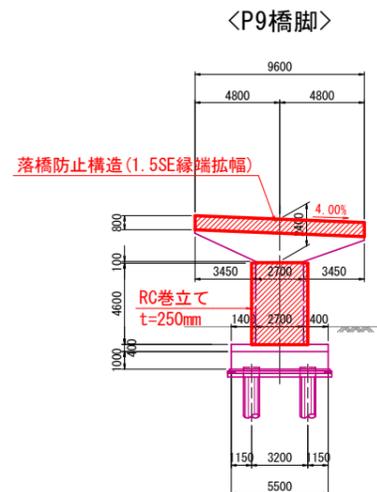
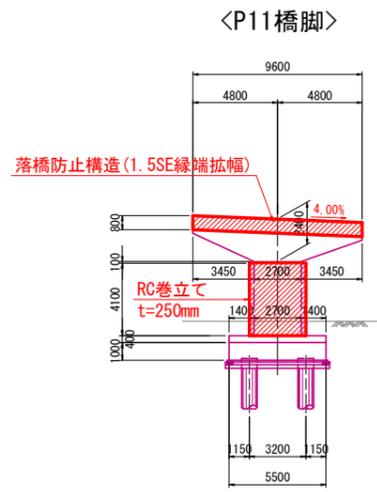
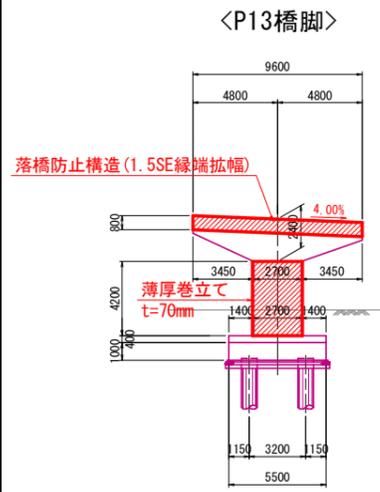
今回施工

凡例	
	水道
	電気
	下水

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	金岡高架橋 耐震補強一般図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	1 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

注記: 起点側現況地形は、「地理院地図」をトレースしたものである。

金岡高架橋 耐震補強一般図(その2) S=1:200



設計条件	
路線名	県道寒河本庄岡山線
架橋位置	岡山市東区金岡東町二丁目地内
橋梁名	金岡高架橋
道路規格	—
設計速度	—
橋長	L=263.000m (道路中心線上)
桁長	20.960m + 5x18.960m + 7x20.960m (道路中心線上)
支間長	20.360m + 5x18.360m + 7x20.360m (道路中心線上)
全幅員	9.930m
有効幅員	9.000m
橋梁形式	上部工: 13径間プレテンション方式PC単純T桁橋 下部工: 橋台: 逆T式橋台 橋脚: 矩形柱張出し式橋脚
基礎工	橋台: 場所打ち杭基礎φ1000 橋脚: 場所打ち杭基礎φ800
支承条件	橋軸方向: 固定、可動 橋軸直角方向: 固定
線形条件	縦断勾配: 0.9471%直線上り勾配~5.00%直線上り勾配(バーテカルカーブ内) 横断勾配: 4.00%直線片勾配 斜角: 90° 00' 00"
平面線形	R=500m~A=160m
重要度の区分	B種の橋(第二次緊急輸送道路)
地域区分	B2地域 (Cz=0.85, Iz=1.0, IIz=0.85)
地盤種別	II種地盤
落橋防止システム	桁かかり長: 各下部工にて確保 落橋防止構造: 1.5SE桁座拡幅 横変位拘束構造: 設置していない(省略規定に該当)
施工条件	支承補強構造: 吊足場 落橋防止構造: 吊足場 橋脚柱補強: オープン掘削
維持管理条件	点検方法: 桁下からの目視(必要に応じて梯子設置) 上部工留意事項: 床版閉詰、桁端部漏水等の確認 下部工留意事項: 橋座面の排水状況 付属物留意事項: 支承の変状、伸縮継手の漏水等
適用示方書	道路橋示方書 同解説 I~V (平成29年11月、平成24年3月) 国総研資料 第700号

耐震補強対策一覧表

構造	対策	対策箇所															
		A2	P13	P12	P11	P10	P9	P8	P7	P6	P5	P4	P3	P2	P1		
		終点	起点	終点	起点	終点	起点	終点	起点	終点	起点	終点	起点	終点	起点		
橋脚柱補強構造	RC巻立て	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	薄厚巻立て(PCM)	—	○	—	—	—	—	—	○	—	○	—	—	—	○		
支承補強構造	水平力分担構造(橋軸) アンカーバー(横桁増厚)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	水平力分担構造(直角) アンカーバー(横桁増厚)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
段差防止構造	支承高が低いため設置しない																
落橋防止システム	桁かかり長	桁かかり長は満足している															
	落橋防止構造	1.5SE桁座拡幅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	横変位拘束構造	回転落橋の可能性が低いため設置しない															

注記: 1. 主桁、横桁のPCケーブル切断のリスク回避のため、落橋防止構造は1.5SE桁座拡幅を採用している。
2. 支承補強構造として、増厚した横桁内部にアンカーバーを設置する。

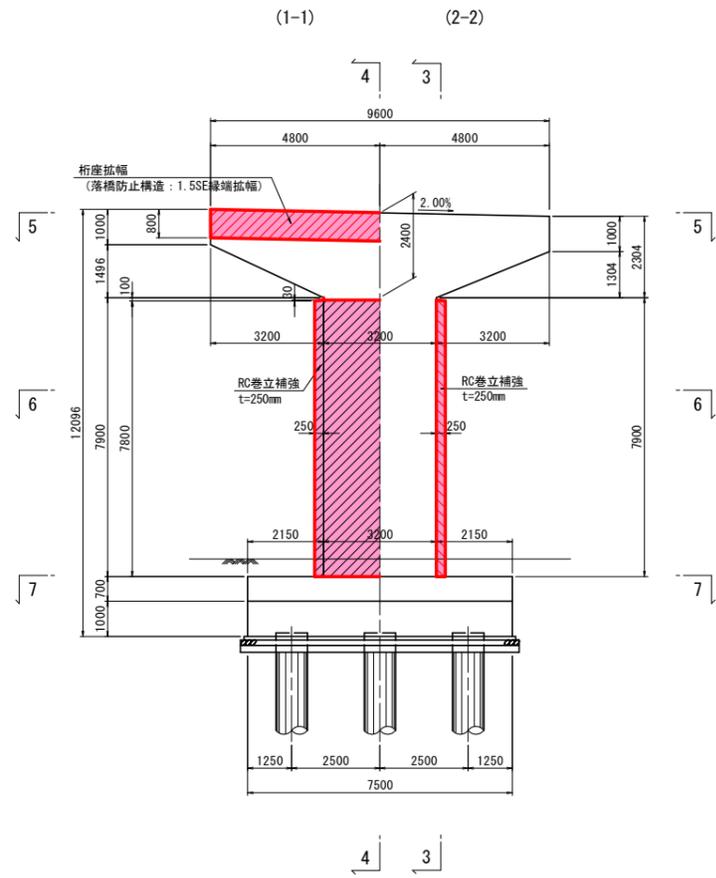
今回施工

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	金岡高架橋 耐震補強一般図(その2)		
作成年月日			
縮尺	1:200	図面番号	2 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防課		

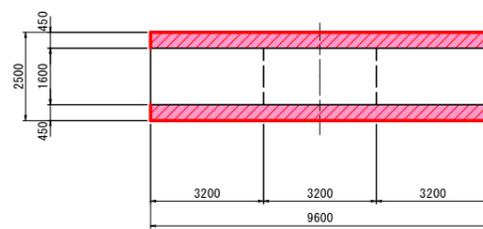
P3橋脚 補強構造一般図

S=1:100

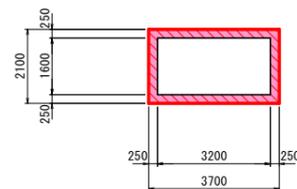
正面図



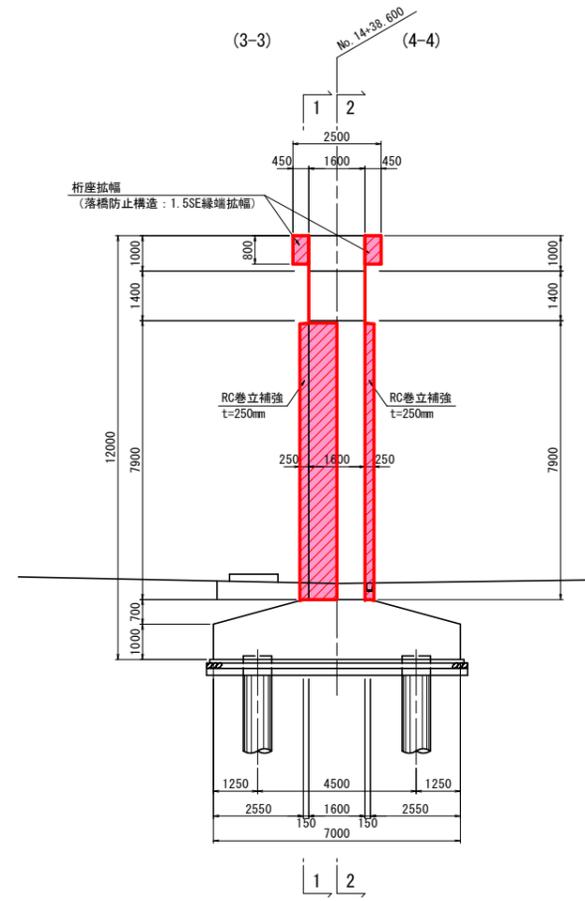
橋座平面図 (5-5)



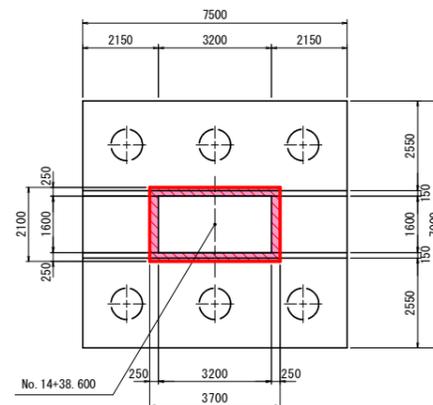
柱断面図 (6-6)



側面図



柱基部断面図 (7-7)



使用材料 (設計条件)

名称	規格	摘要
桁座拡幅	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	
柱	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	
鉄筋	SD345	

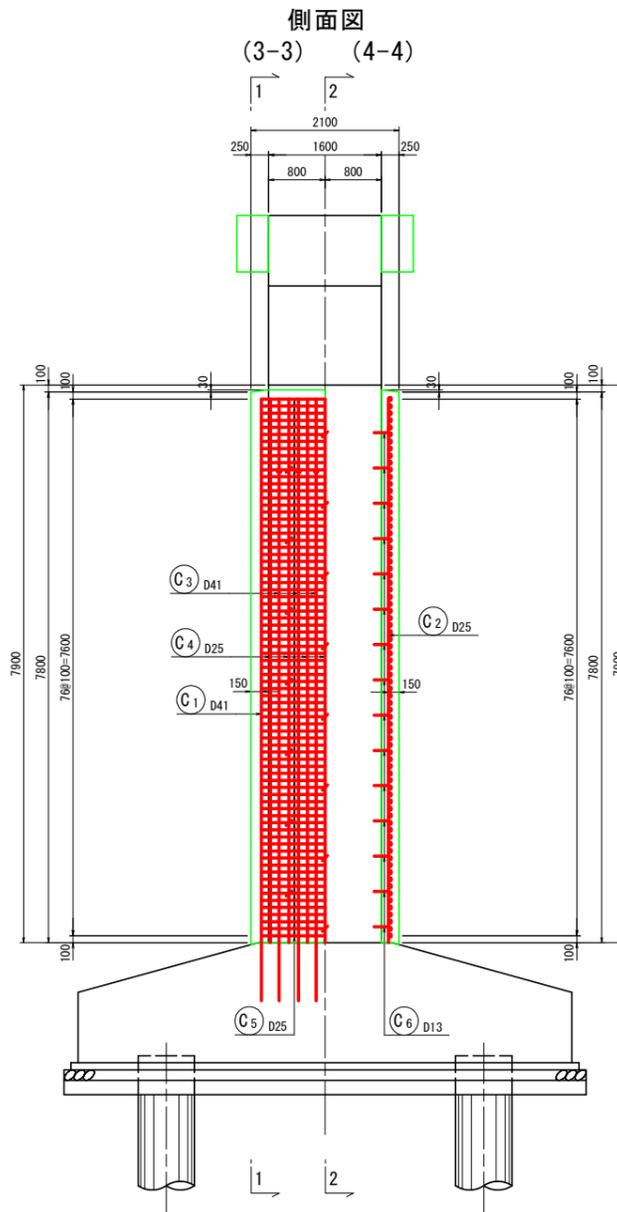
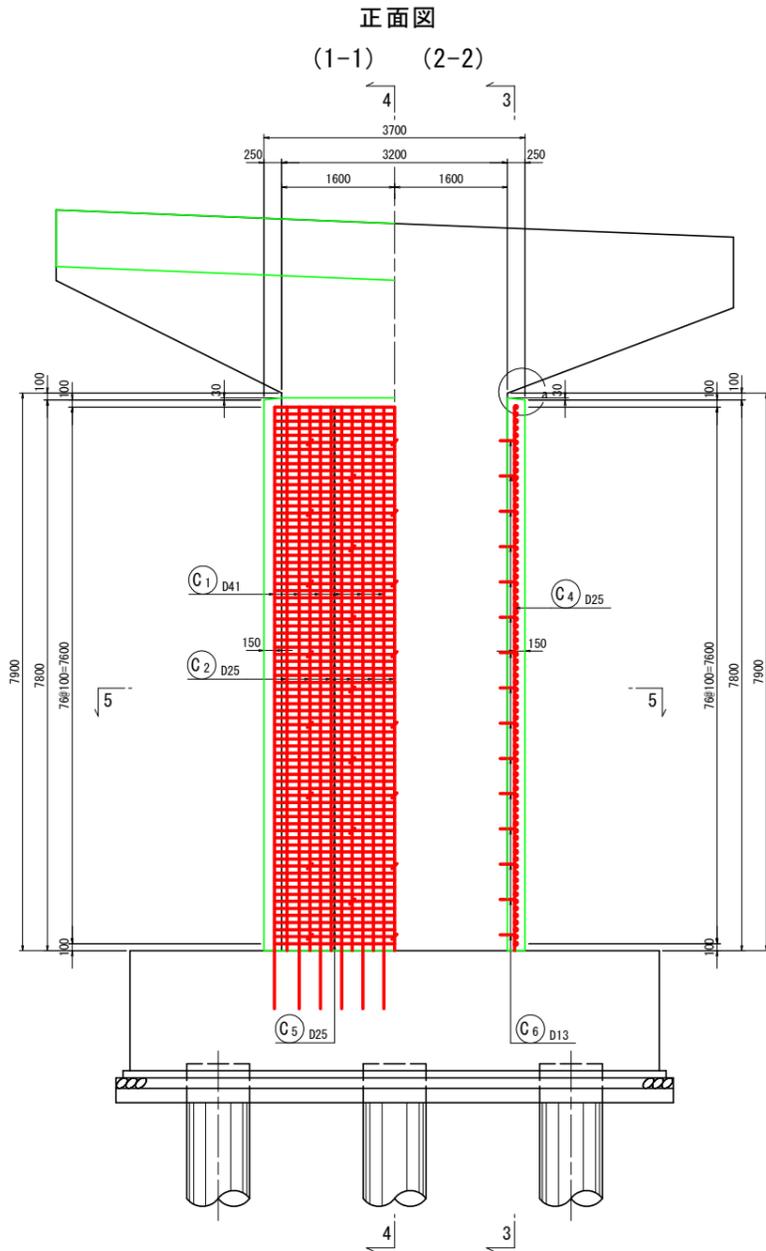
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P3橋脚 補強構造一般図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	3 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P3橋脚 柱補強配筋図

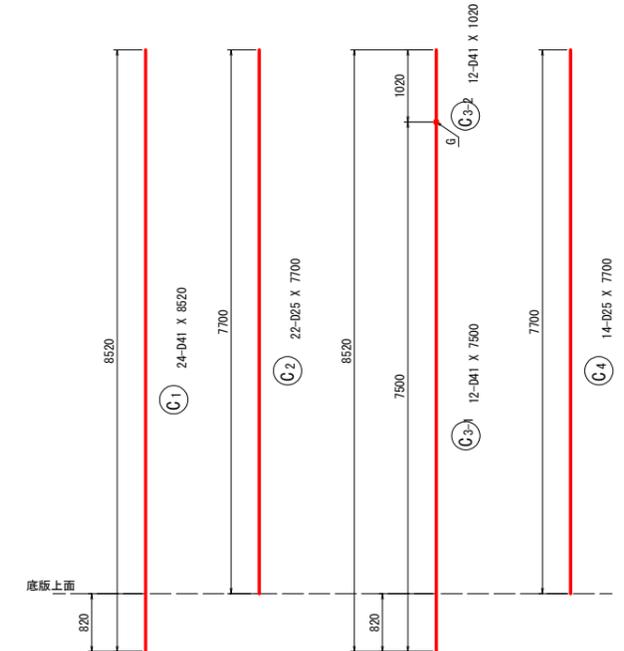
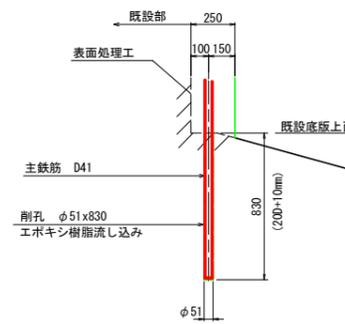
S=1:50

鉄筋質量表 (SD345)

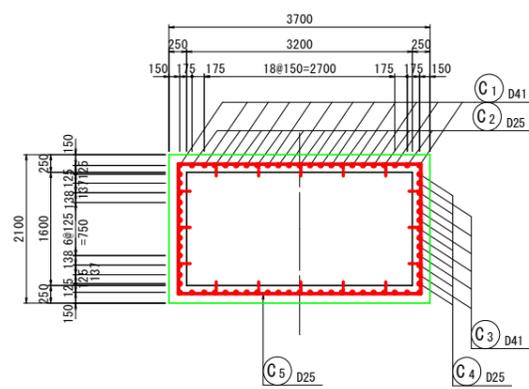
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C 1	D41	8520	24	10.5	89.46	2147	
C 2	D25	7700	22	3.98	30.65	674	
C 3-1	D41	7500	12	10.5	78.75	945	(12)
C 3-2	D41	1020	12	10.5	10.71	129	
C 4	D25	7700	14	3.98	30.65	429	
C 5	D25	5630	154	3.98	22.41	3451	┘
C 6	D13	220	120	0.995	0.22	26	┘
7801 kg							
(圧接箇所)							
合計 D41				3221 kg	(12)		
D25				4554 kg			
D13				26 kg			
総質量				7801 kg	(12)		



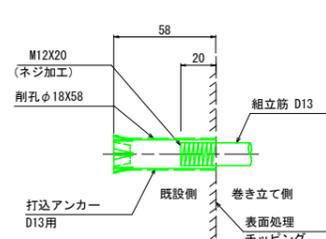
定着部詳細図 S=1/20



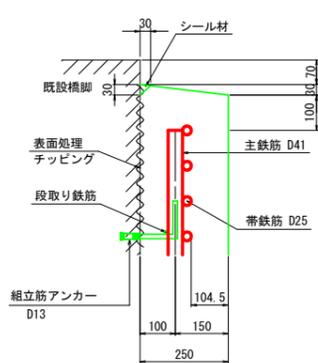
柱断面図 (5-5)



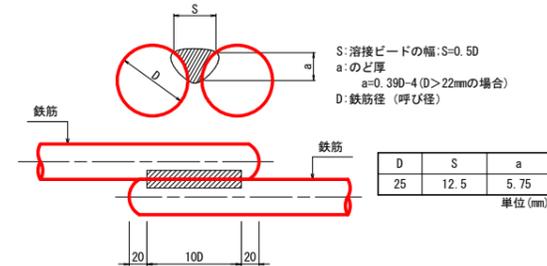
組立アンカー部詳細図 S=1:2



a部詳細図 S=1:10



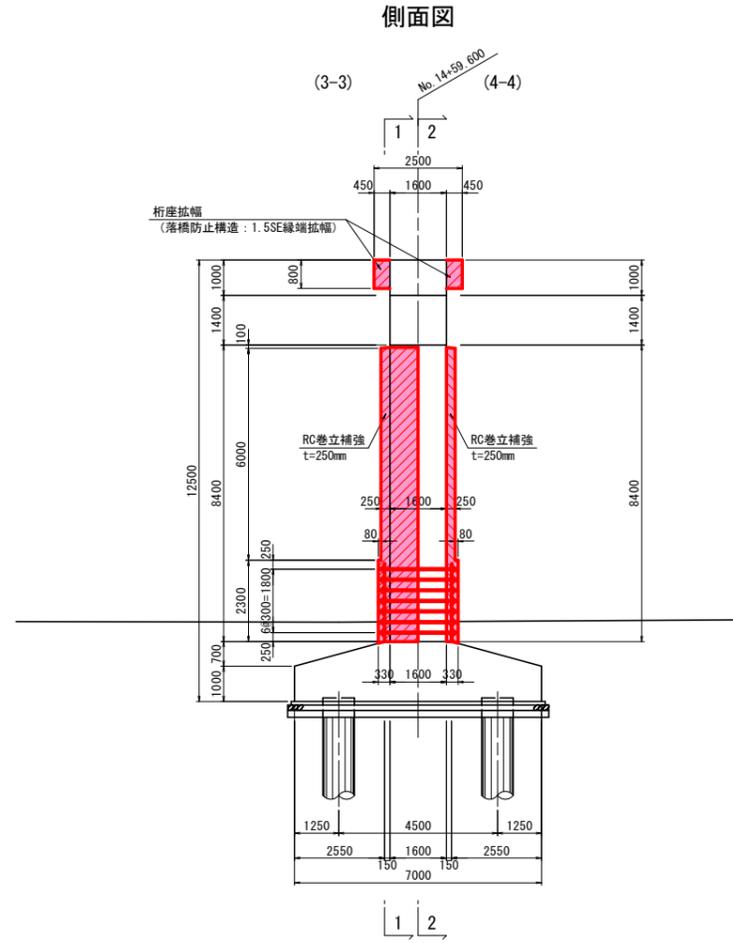
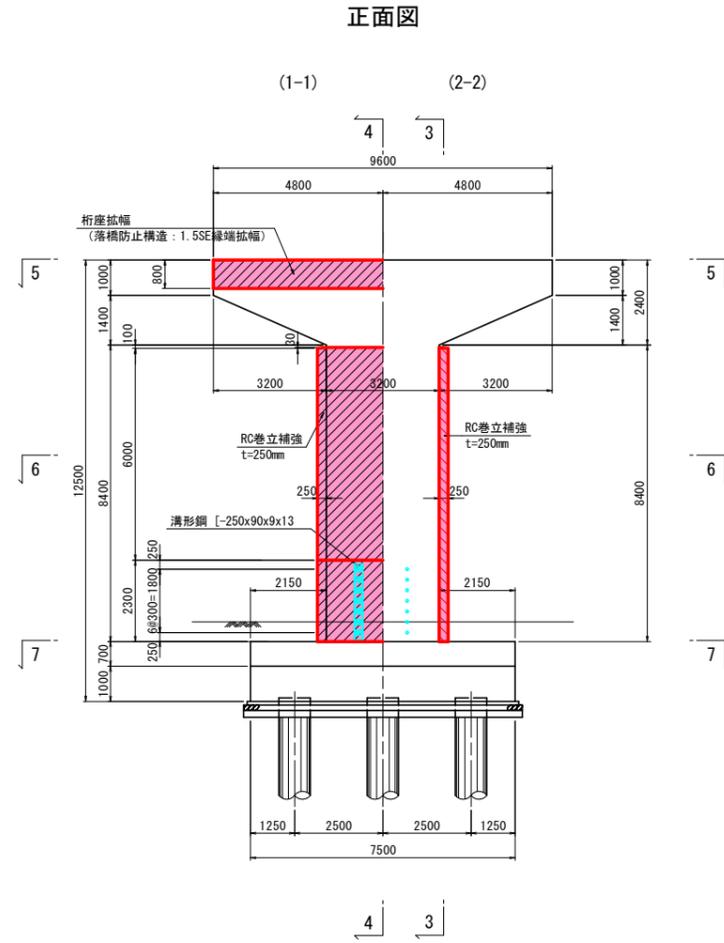
フレアー溶接詳細図



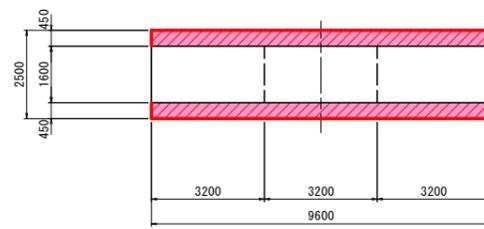
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P3橋脚 柱補強配筋図		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	4 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P2橋脚 補強構造一般図

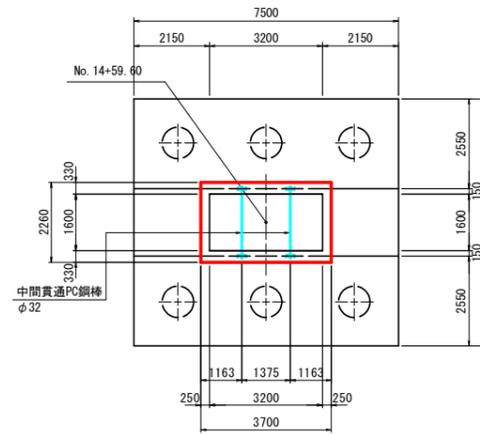
S=1:100



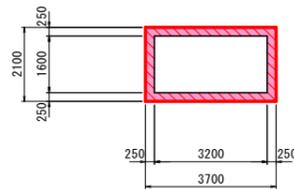
橋座平面図 (5-5)



柱基部断面図 (7-7)



柱断面図 (6-6)



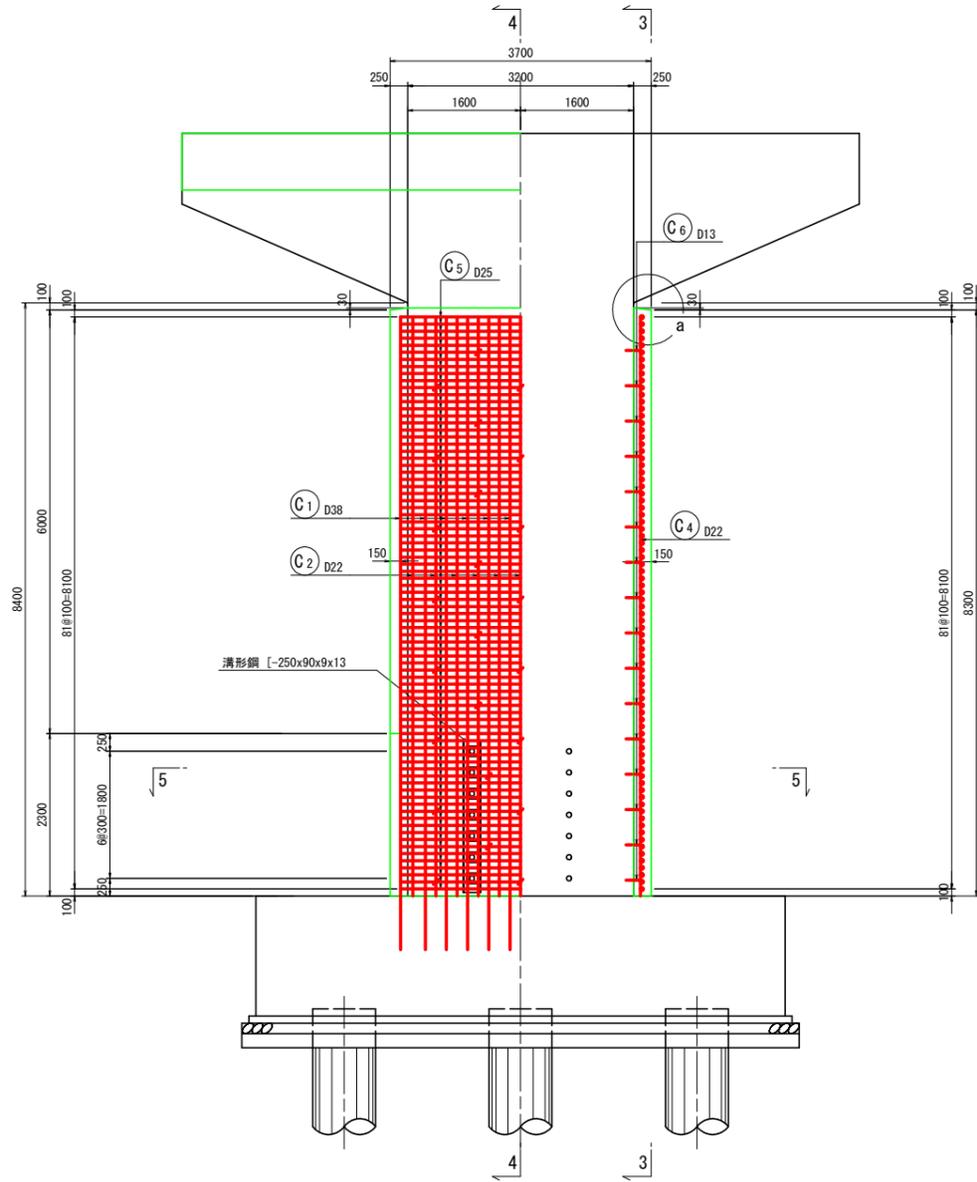
使用材料 (設計条件)

名称	規格	摘要
桁座拡幅	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	
柱	$\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$	
鉄筋	SD345	

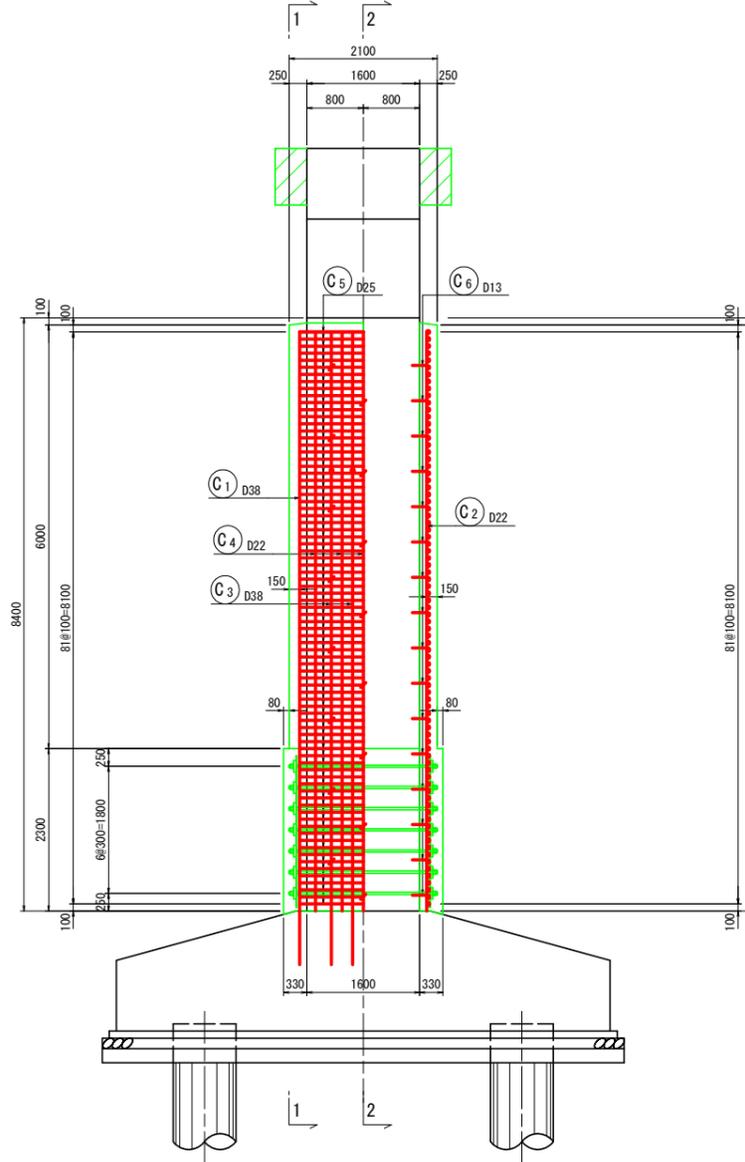
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P2橋脚 補強構造一般図		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	5 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P2橋脚 柱補強配筋図(その1) S=1:50

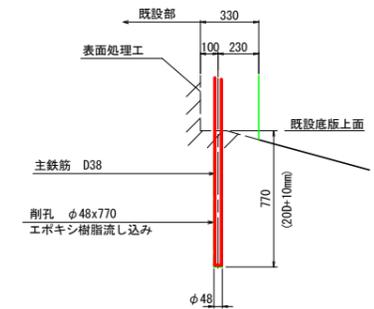
正面図
(1-1) (2-2)



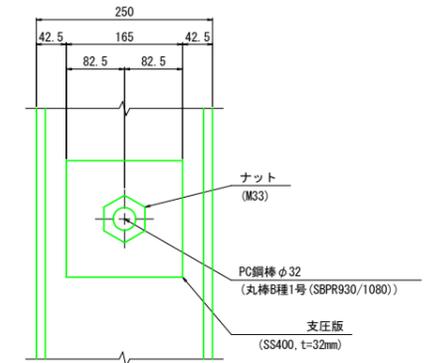
側面図
(3-3) (4-4)



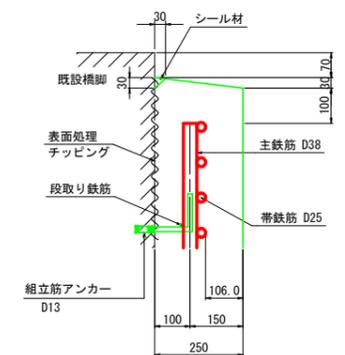
定着部詳細図 S=1:20



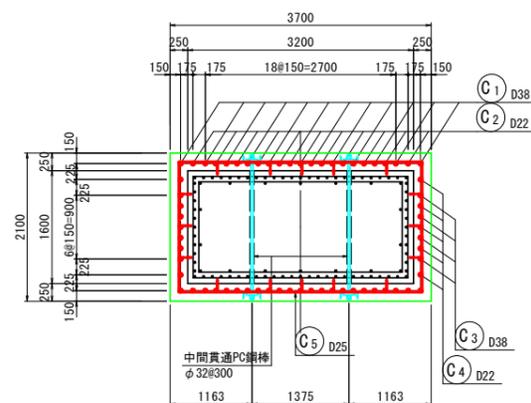
A-A断面 S=1:5



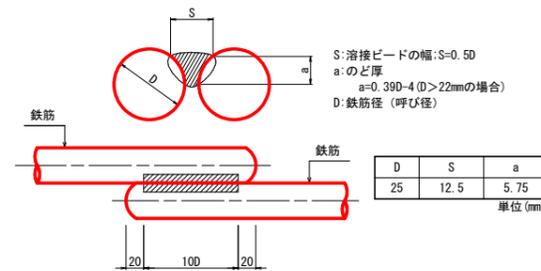
a部詳細図 S=1:10



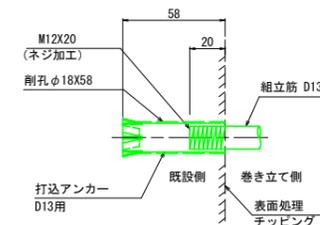
柱断面図(5-5)



フレア溶接詳細図



組立アンカー部詳細図 S=1:2

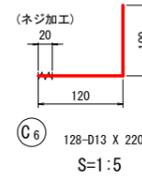
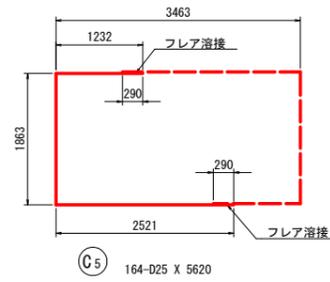
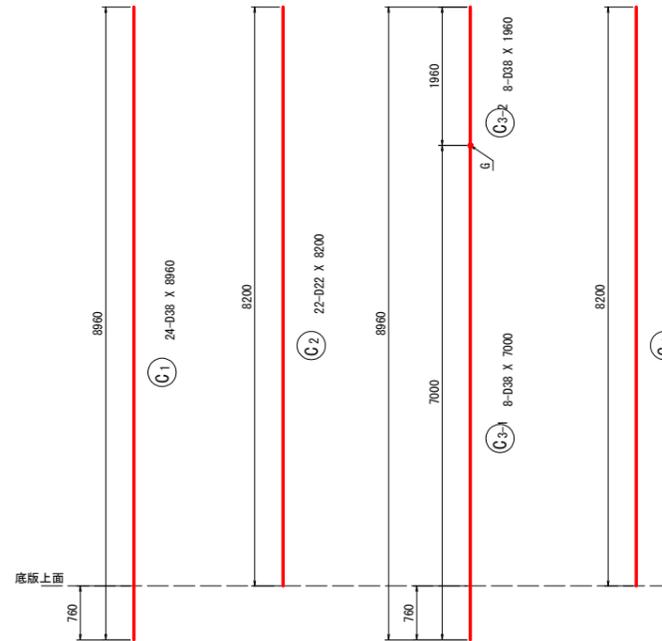
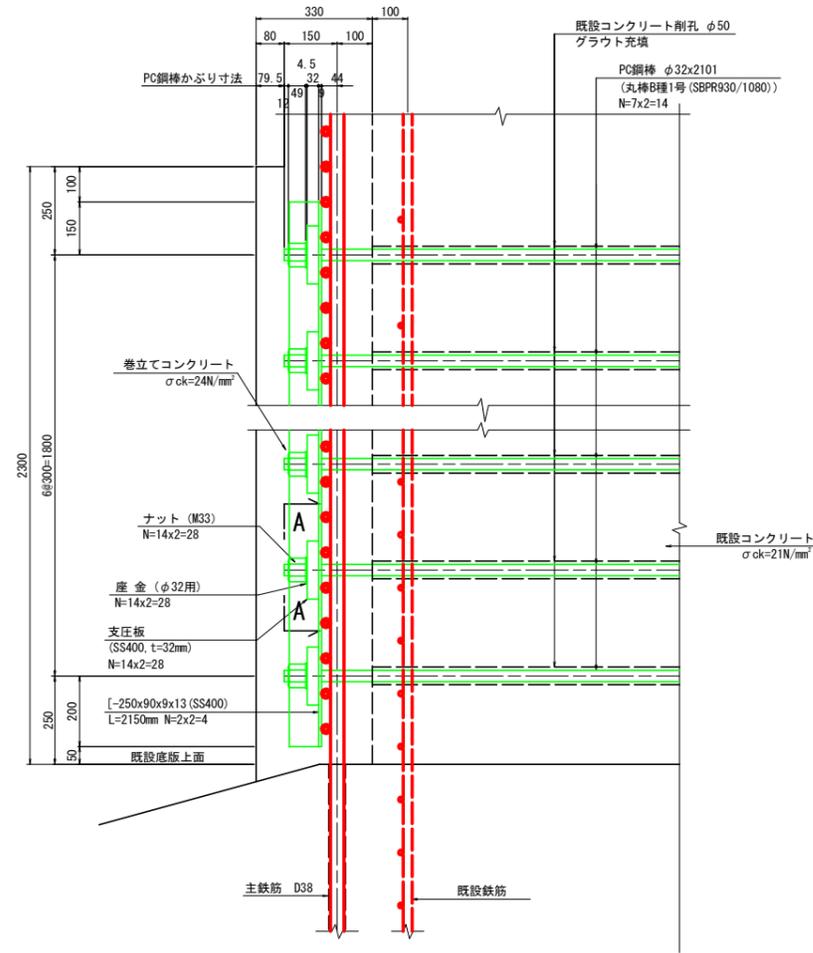


工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P2橋脚 柱補強配筋図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	6 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P2橋脚 柱補強配筋図(その2)

S=1:50

中間貫通PC鋼棒取付詳細図 S=1:10



中間貫通材数量表

名称	寸法	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	数量 (枚、本)	全体重量 (kg)	摘要
溝形鋼	L-250x90x9x13	2150	34.6	4	298	(SS400)
PC鋼棒	φ32	2101	6.31	14	186	
ナット	M33		0.815	28	23	
座金	φ32用		0.111	28	3	
支圧板	PL-165x165x32		6.84	28	192	(SS400)
総重量					702	kg
種別集計						
溝形鋼	L-250x90x9x13 (SS400)				298	kg
PC鋼棒	φ32				186	kg
ナット	M33				23	kg
座金	φ32用				3	kg
支圧板	PL-165x165x32 (SS400)				192	kg

注記

- アンカー鉄筋の埋込み長は、既設橋脚に鉄筋径の20倍とする。
- 帯鉄筋の継手はフレア溶接により接続し、継手位置を干鳥配置にする。
- 現地再計測及び鉄筋探査のうえ施工を行う。
- PC鋼材は、ストレスの導入は行わない。
- PC鋼材設置時に既設柱鉛直鉄筋を切断しても構造上問題無いが、極力切断しないように施工すること。

鉄筋質量表 (SD345)

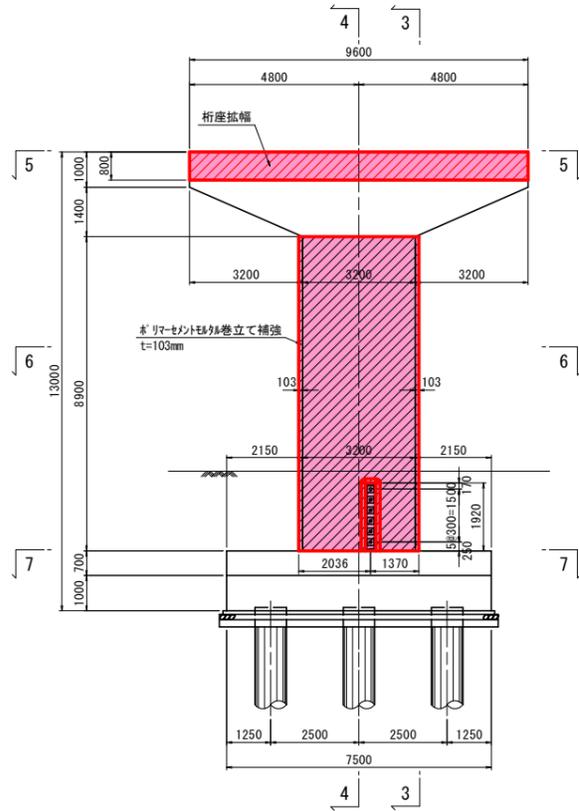
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C 1	D38	8960	24	8.95	80.19	1925	
C 2	D22	8200	22	3.04	24.93	548	
C 3-1	D38	7000	8	8.95	62.65	501	(8)
C 3-2	D38	1960	8	8.95	17.54	140	
C 4	D22	8200	10	3.04	24.93	249	
C 5	D25	5620	164	3.98	22.37	3669	┌
C 6	D13	220	128	0.995	0.22	28	└
						7060	kg
							(圧接箇所)
合計				D38	2566	kg	(8)
				D25	3669	kg	
				D22	797	kg	
				D13	28	kg	
総質量					7060	kg	(8)

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P2橋脚 柱補強配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	7 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

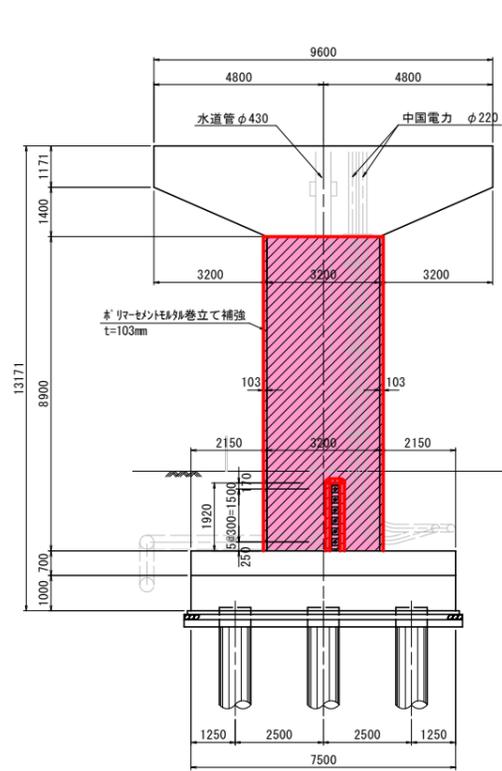
P1橋脚 補強構造一般図(その1)

S=1:100

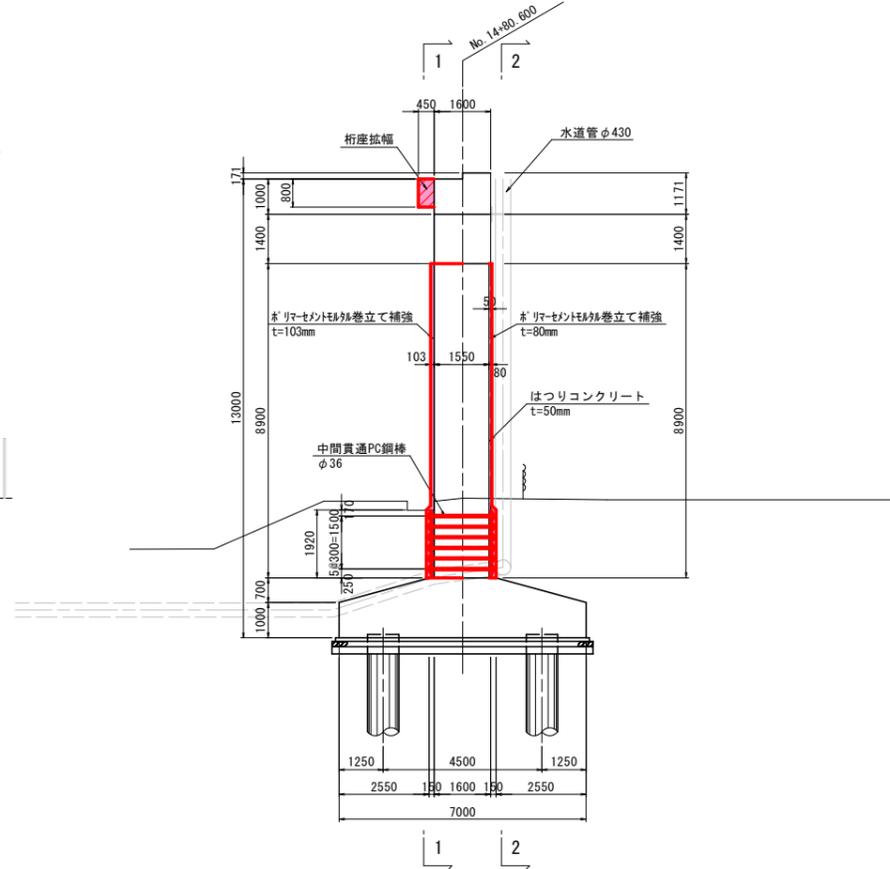
終点側正面図(1-1)



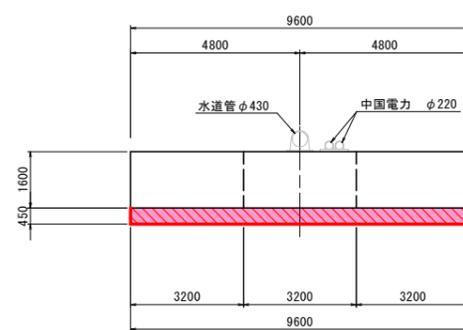
起点側正面図(2-2)



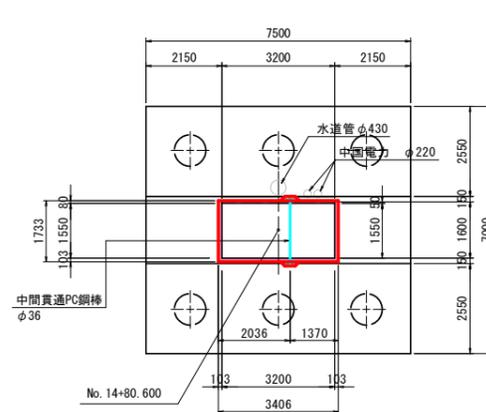
(3-3) 側面図 (4-4)



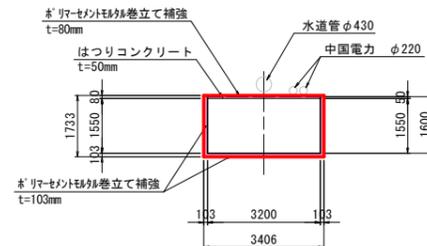
橋座平面図(5-5)



柱基部断面図(7-7)



柱断面図(6-6)



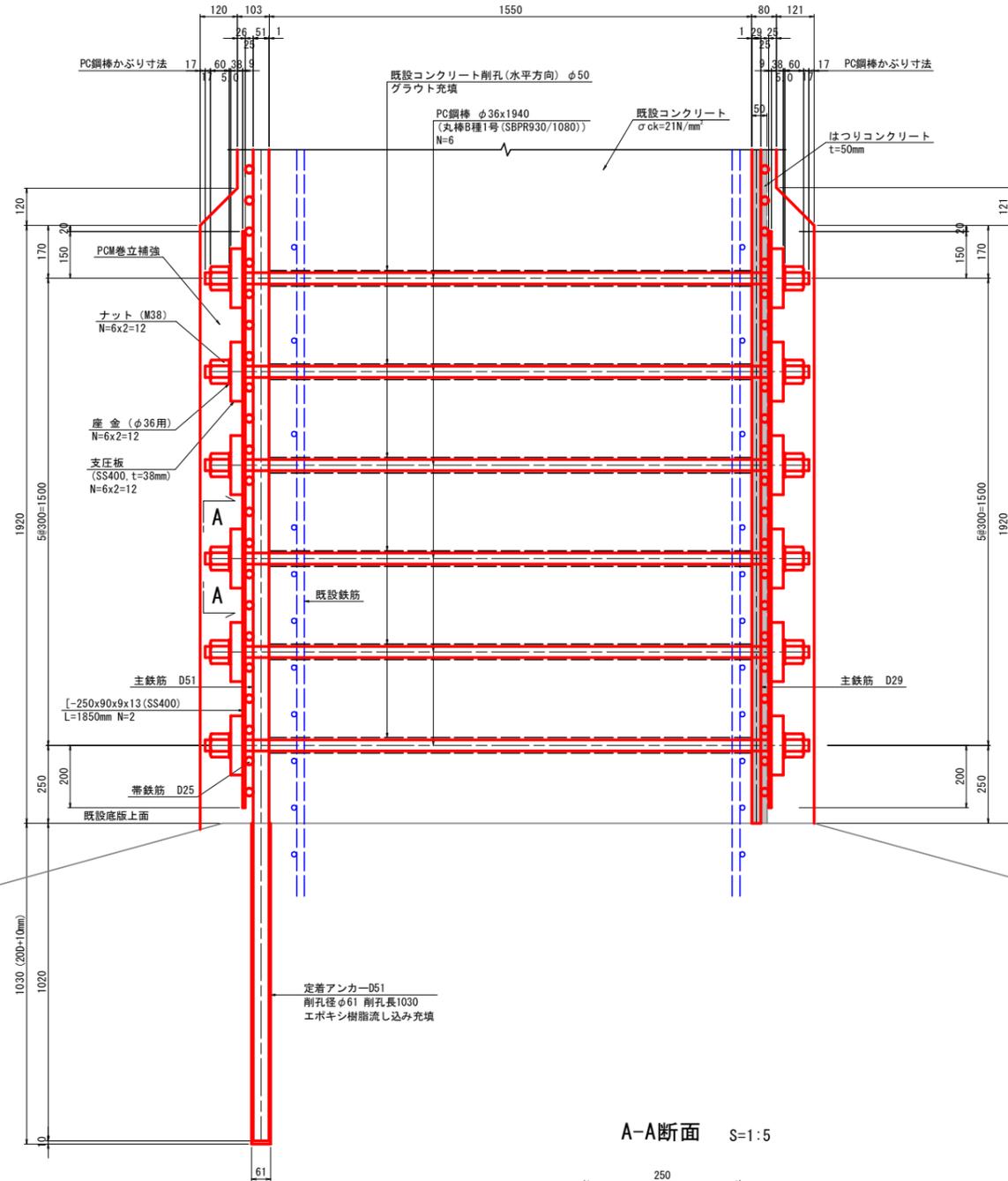
使用材料 (設計条件)

	名称	規格	摘要
補強工	桁座幅	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	
	柱	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$	ボリマントモルタル巻立て補強
	鉄筋	SD345	

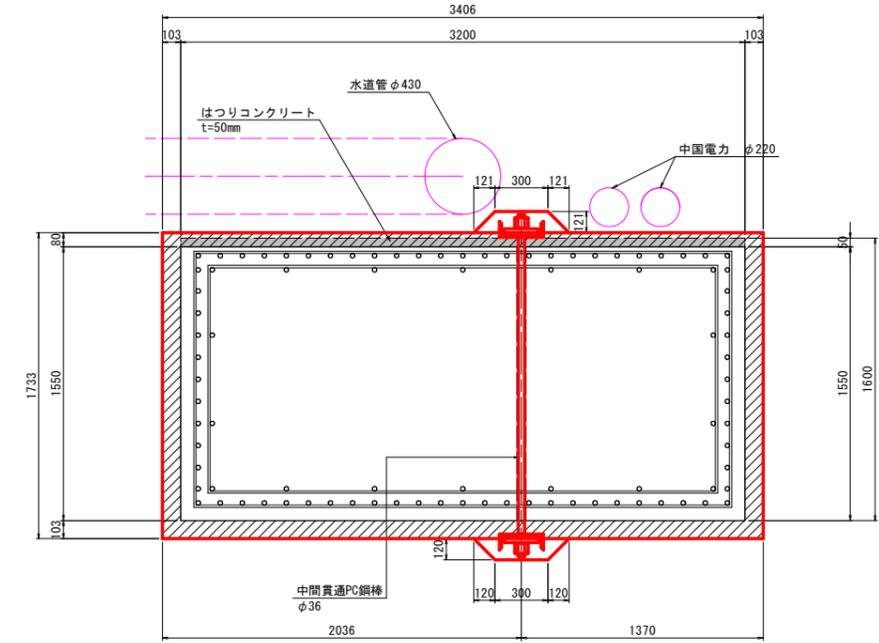
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P1橋脚 補強構造一般図(その1)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	8 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

P1橋脚 補強構造一般図(その2)

柱基部断面詳細図 S=1:10



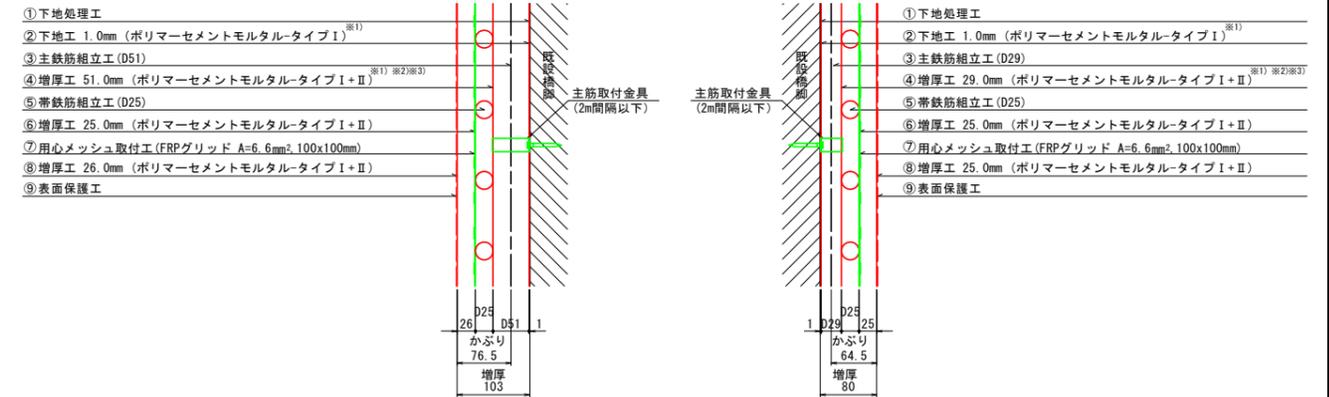
柱断面詳細図 S=1:20



ポリマーセメントモルタル吹付工法 S=1:5

<t=103mm>

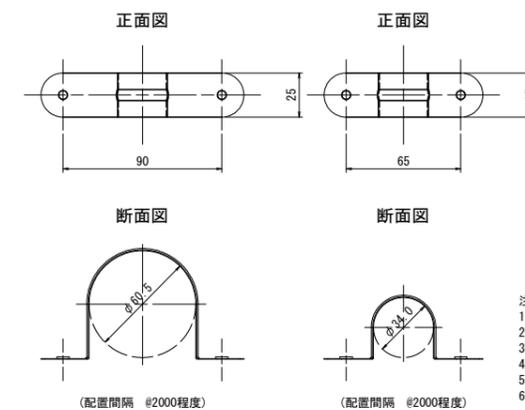
<t=80mm>



主筋取付金具詳細図 S=1:2

D51用

D29用

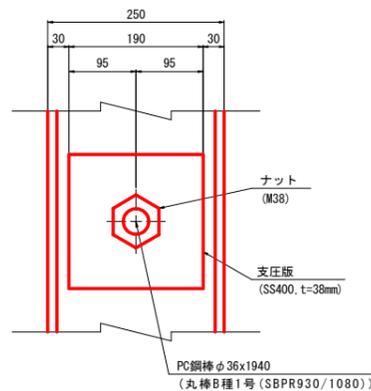


プレスアンカー詳細図 S=1:2

φ6xL45



A-A断面 S=1:5



中間貫通PC鋼棒材料表

名称	寸法	長さ (mm)	単位重量 (kg/m)	数量 (枚、本)	全体重量 (kg)	摘要
溝形鋼	[-250x90x9x13]	1850	34.6	2	128	(SS400)
PC鋼棒	φ36	1940	7.99	6	93	
ナット	M38		1.200	12	14	
座金	φ36用		0.140	12	2	
支圧板	PL-190x190x38		10.00	12	120	(SS400)
総重量					357	kg
種別集計						
溝形鋼	[-250x90x9x13 (SS400)]				128	kg
PC鋼棒	φ36				93	kg
ナット	M38				14	kg
座金	φ36用				2	kg
支圧板	PL-190x190x38 (SS400)				120	kg

- ※1: ポリマーセメントモルタルタイプI 接着剤およびプライマー材として使用
- ※2: ポリマーセメントモルタルタイプII 増厚材として使用
- ※3: ポリマーセメントタイプI+タイプII タイプI (t=0.5mm)+タイプII (t≤30mm)のパターンで重ね塗りを行う

注記)

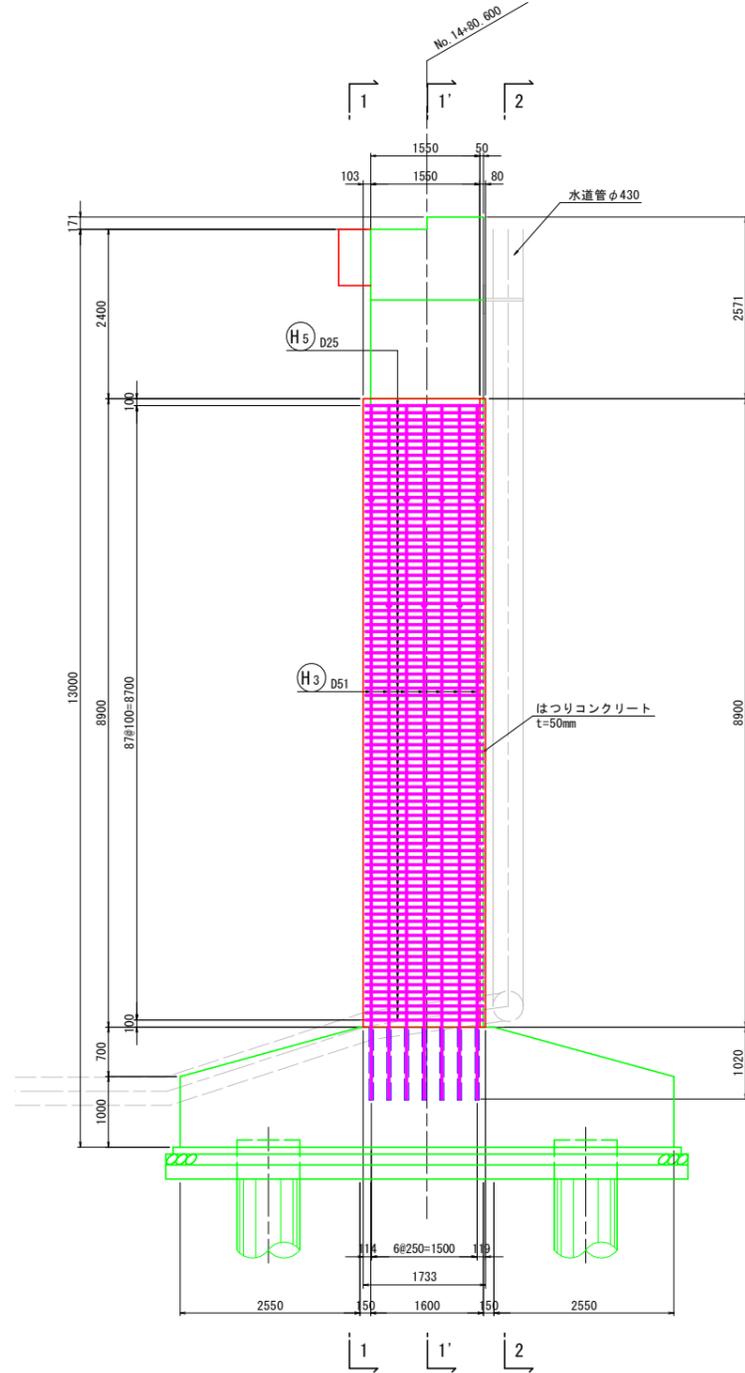
1. 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと
2. 既設構造物との接触面は適切な下地処理を行うものとする。
3. アンカー筋削孔時には、既設鉄筋を確認し避けること。
4. 主鉄筋は既設コンクリート面に金具を用いて固定すること。
5. 帯鉄筋の継ぎ手はフレア溶接とし、継ぎ手位置は千鳥配置とすること。
6. 「PAE系ポリマーセメントモルタルを用いたコンクリート構造物の補修・補強に関する設計・施工マニュアル(案)」に規定されている材料及び施工方法と同等品以上とすること。
7. PC鋼材は、ストレスの導入は行わない。
8. PC鋼材設置時に既設柱鉛直鉄筋を切断しても構造物上問題無いが、極力切断しないように施工すること。
9. PC鋼棒の製作は定着間を実測確認のうえ行うこと。

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P1橋脚 補強構造一般図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	9 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

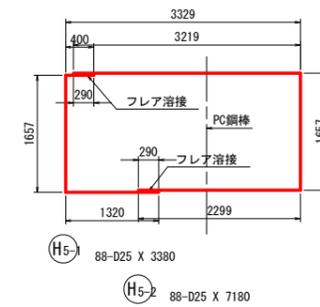
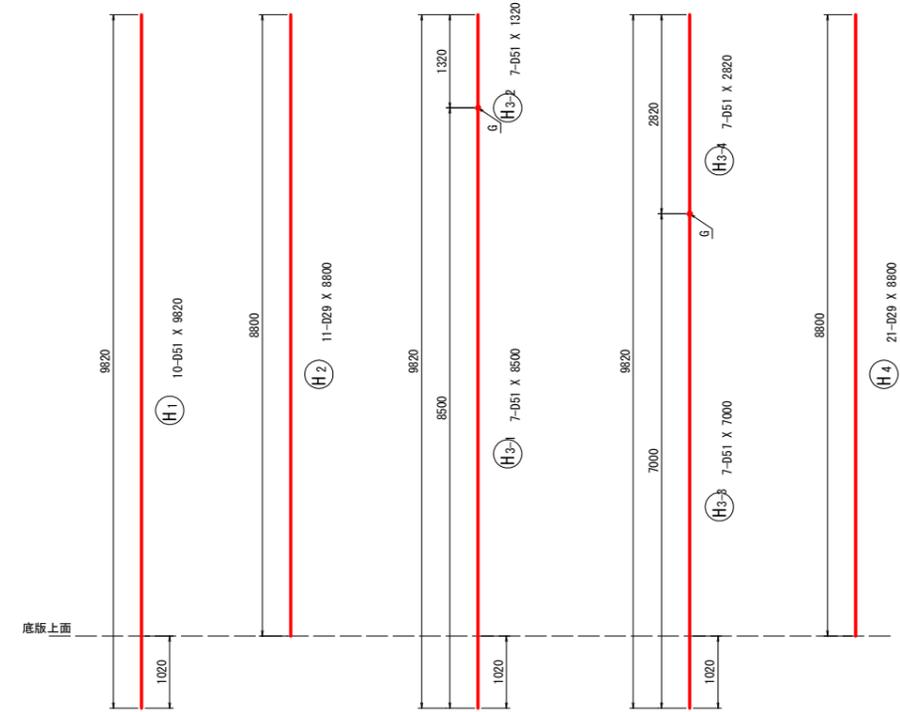
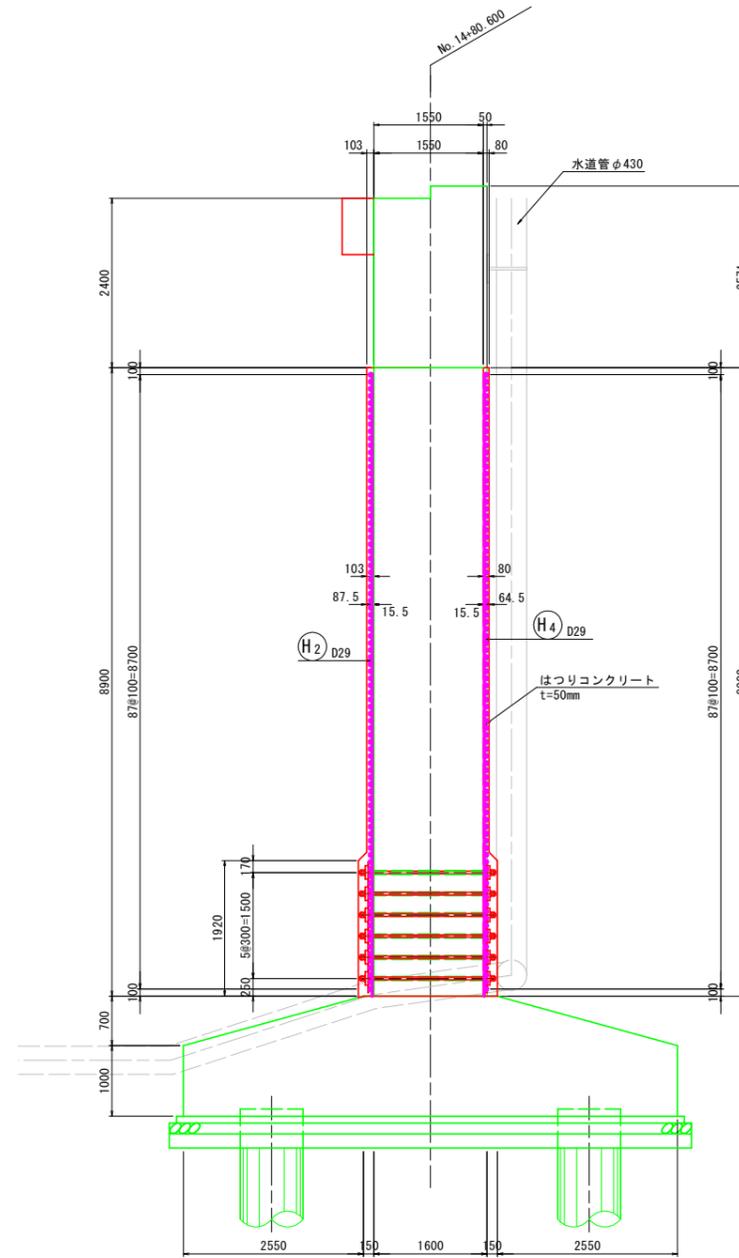
P1橋脚 柱補強配筋図(その2)

S=1:50

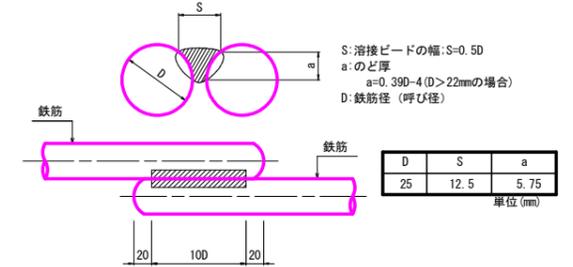
側面図(4-4)



断面図(5-5)



フレア溶接詳細図



S: 溶接ビードの幅: S=0.5D
 a: のど厚
 a=0.39D-4 (D>22mmの場合)
 D: 鉄筋径 (呼び径)

鉄筋質量表 (SD345)

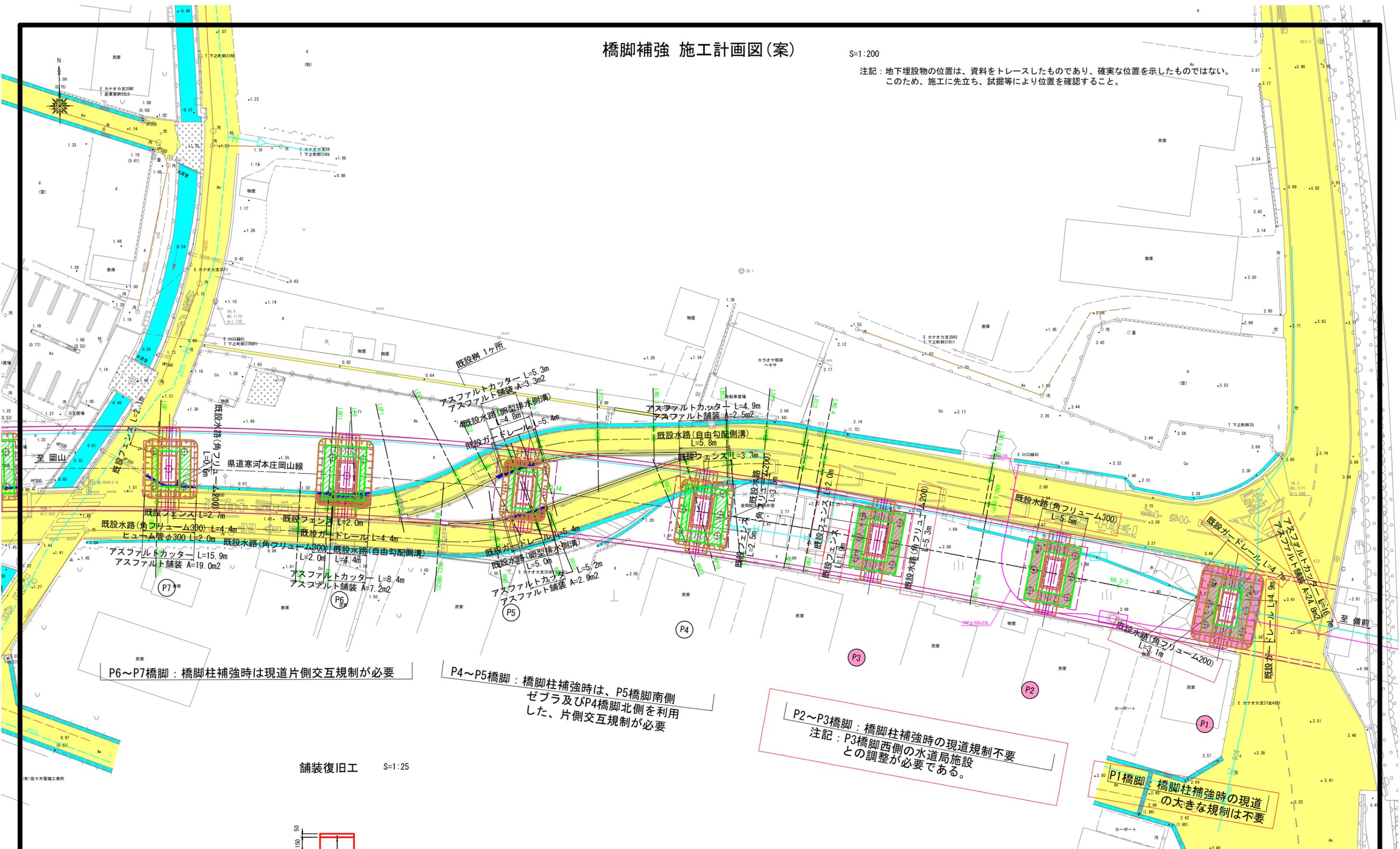
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
H 1	D51	9820	10	15.9	156.14	1561	
H 2	D29	8800	11	5.04	44.35	488	
H 3-1	D51	8500	7	15.9	135.15	946	(7) D51+D5
H 3-2	D51	1320	7	15.9	20.99	147	
H 3-3	D51	7000	7	15.9	111.30	779	(7) D51+D5
H 3-4	D51	2820	7	15.9	44.84	314	
H 4	D29	8800	21	5.04	44.35	931	
H 5-1	D25	3380	88	3.98	13.45	1184	
H 5-2	D25	7180	88	3.98	28.58	2515	
						8865 kg	
						(圧接箇所)	(フレア溶接)
合計		D51		3747 kg	(14) D51+D51		
		D29		1419 kg			
		D25		3699 kg		(176)	
総質量				8865 kg	(14)	(176)	

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	P1橋脚 柱補強配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	11 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

橋脚補強 施工計画図(案)

S=1:200

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。



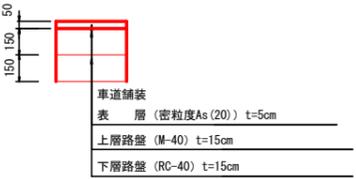
P6~P7橋脚：橋脚柱補強時は現道片側交互規制が必要

P4~P5橋脚：橋脚柱補強時は、P5橋脚南側
ゼブラ及びP4橋脚北側を利用
した、片側交互規制が必要

P2~P3橋脚：橋脚柱補強時の現道規制不要
注記：P3橋脚西側の水道局施設
との調整が必要である。

P1橋脚：橋脚柱補強時の現道
の大きな規制は不要

舗装復旧工 S=1:25



今回施工

凡例

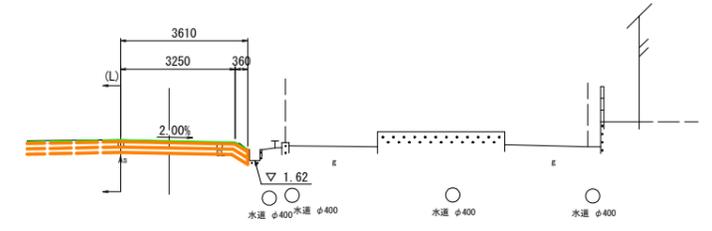
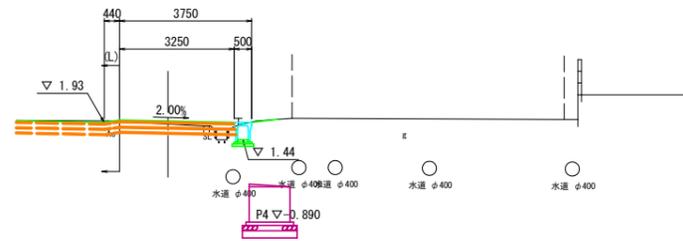
水道
電気
下水

注記：起点側現況地形は、「地理院地図」をトレースしたものである。

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	橋脚補強 施工計画図(案)		
作成年月日	縮尺	図示	図面番号 12 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

橋脚補強 施工計画図(案) (その2) S=1:100

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。

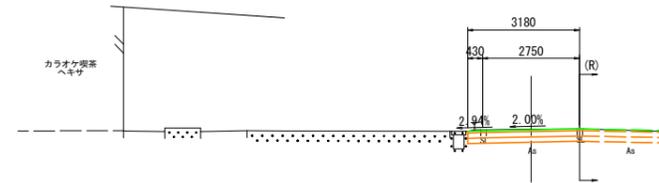
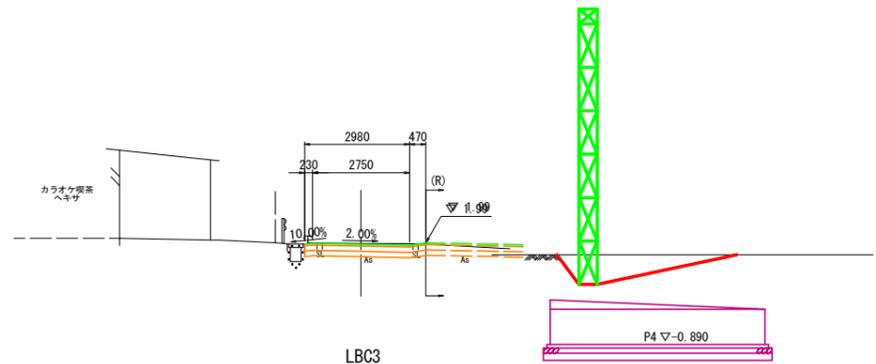


DL=-5.00

RSP3
GH=1.88
FH=1.97

DL=-5.00

REC3
GH=2.15
FH=2.17

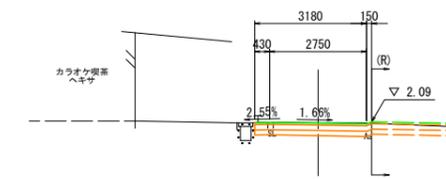
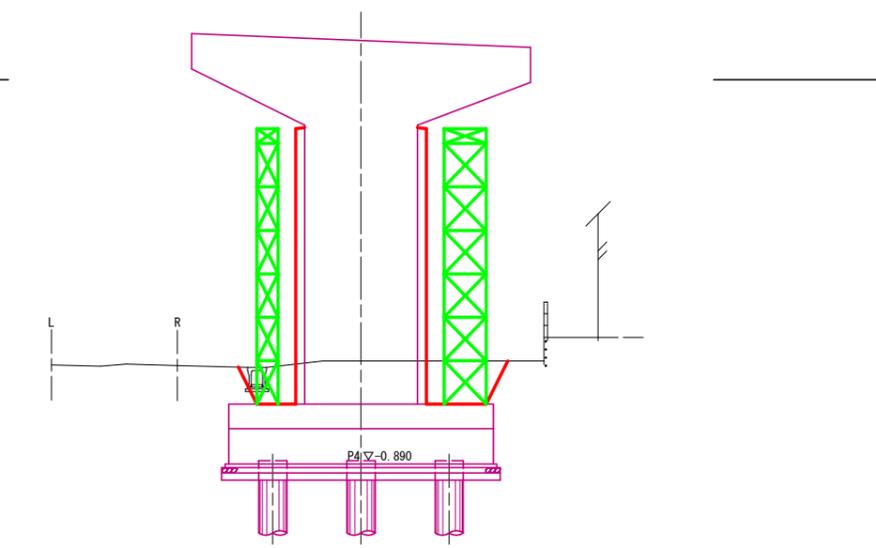


DL=-5.00

LBC3
GH=1.98
FH=1.95

DL=-5.00

LEC3
GH=2.18
FH=2.16



DL=-5.00

P4

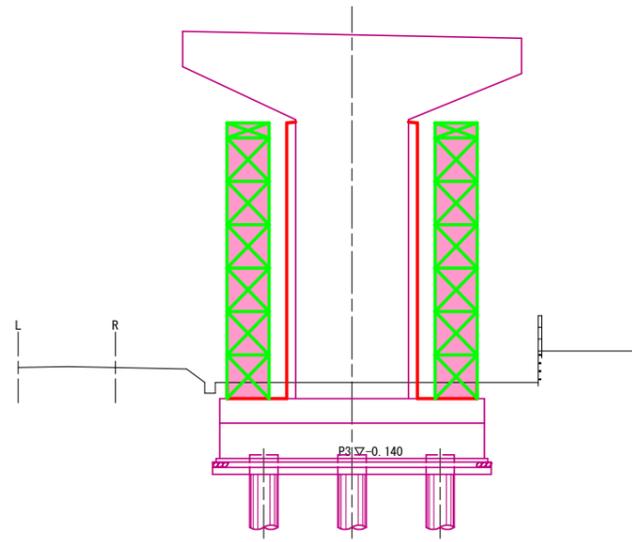
DL=-5.00

LSP3
GH=2.07
FH=2.05

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	橋脚補強 施工計画図(案) (その2)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	13 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

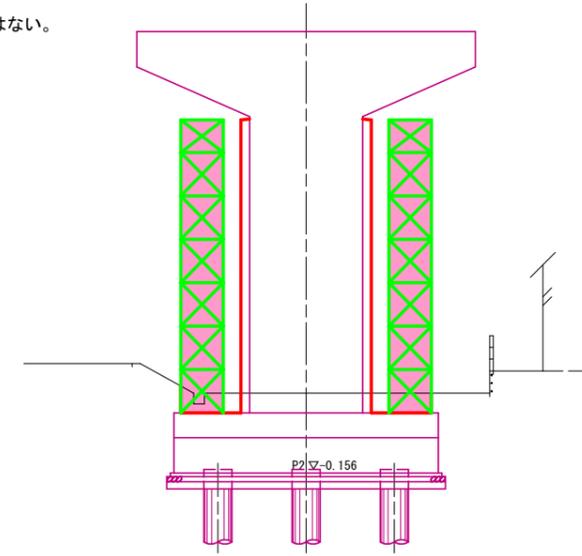
橋脚補強 施工計画図(案) (その3) S=1:100

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。



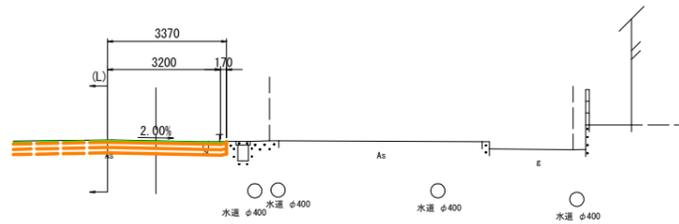
DL=-5.00

P3



DL=-5.00

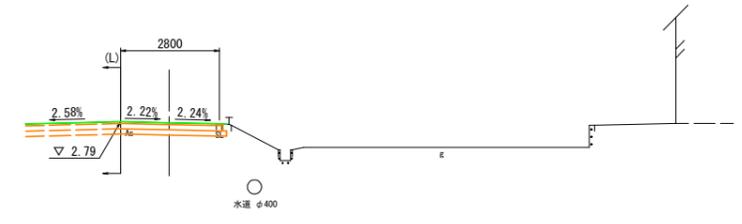
P2



DL=-5.00

RNO. 4

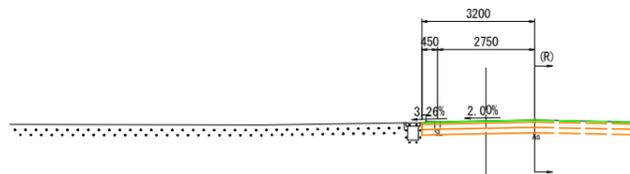
GH=2.25
FH=2.23



DL=-5.00

RNO. 5

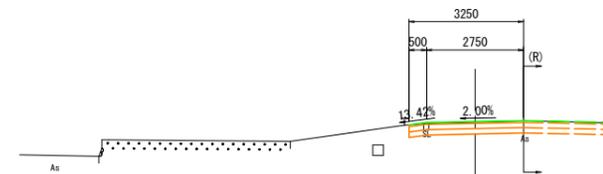
GH=2.76
FH=2.76



DL=-5.00

LNO. 4

GH=2.23
FH=2.22



DL=-5.00

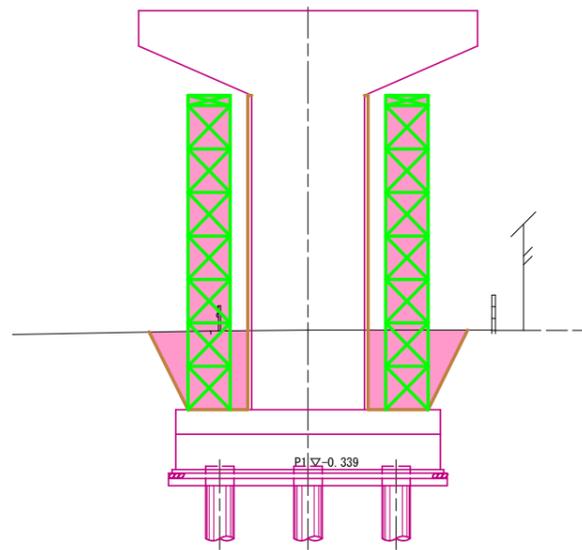
LNO. 5

GH=2.74
FH=2.75

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)		
図面名	橋脚補強 施工計画図(案) (その3)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	14 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

橋脚補強 施工計画図(案) (その4) S=1:100

注記：地下埋設物の位置は、資料をトレースしたものであり、確実な位置を示したものではありません。
このため、施工に先立ち、試掘等により位置を確認すること。



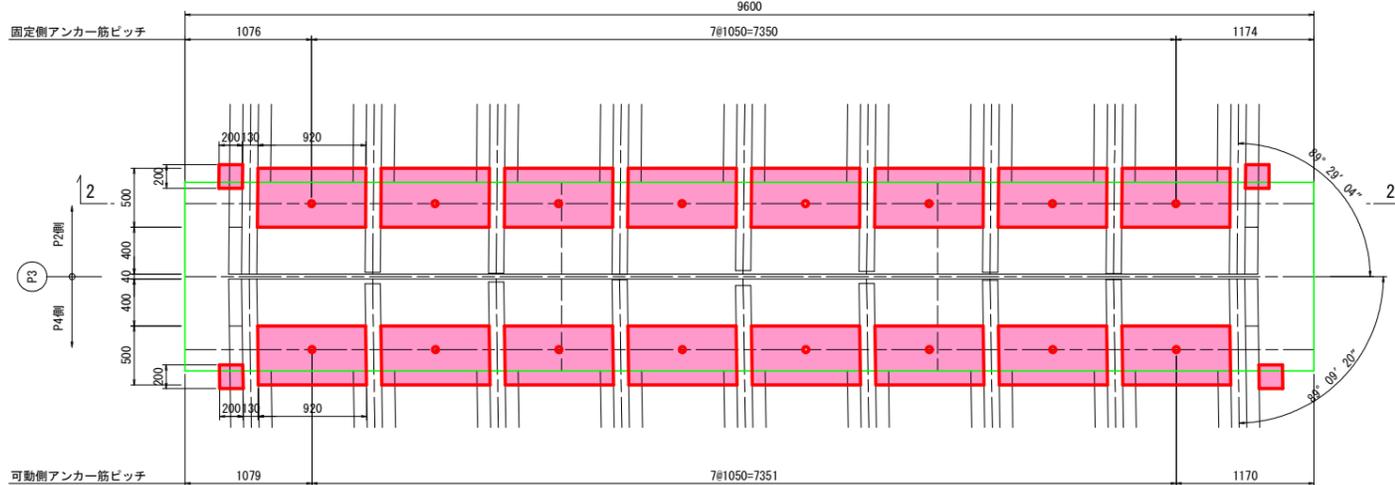
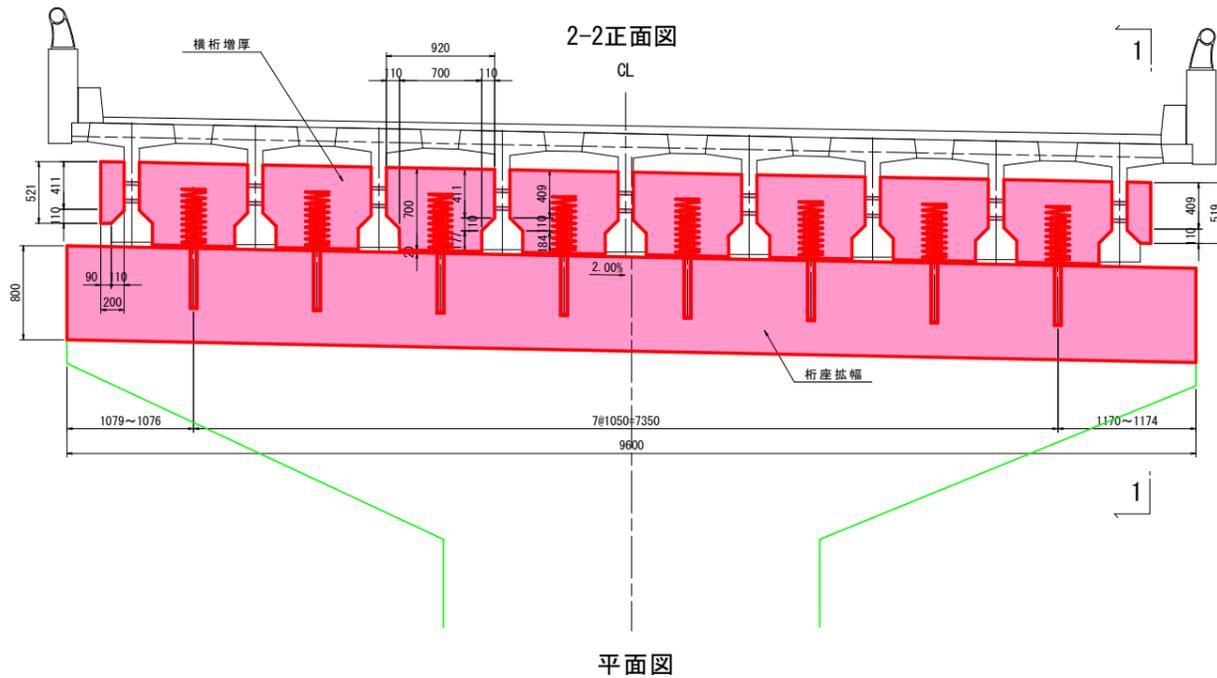
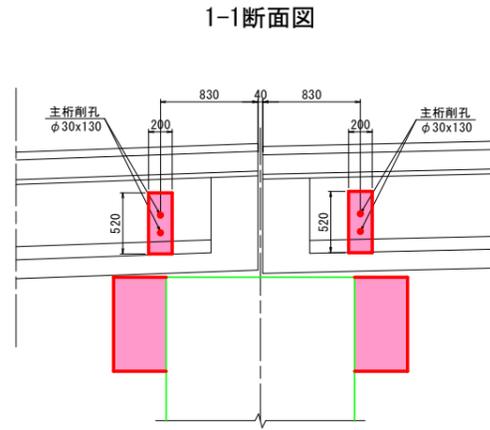
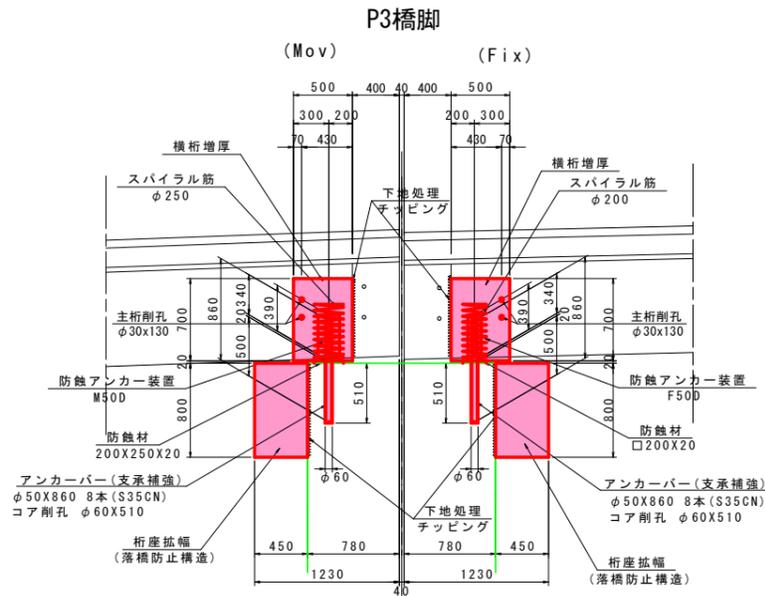
DL=-5.00

P1

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	橋脚補強 施工計画図(案)(その4)		
作成年月日			
縮尺	1:100	図面番号	15 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

支承補強 落橋防止システム構造図(その1) (P3橋脚)

S=1:30



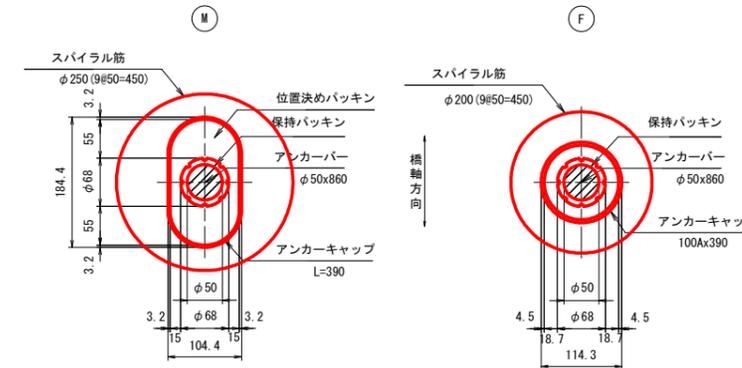
P3橋脚材料表(Mov) (1基当り)

名称	寸法	材質	単位	数量	備考
防蝕アンカー装置	M50D	S35CN S4400 CRスポンジ 合成ゴム SR235	組	8	
防蝕材	200X250X20	RDパッキン	枚	8	
アンカー削孔	φ60X510	コア削孔	箇所	8	

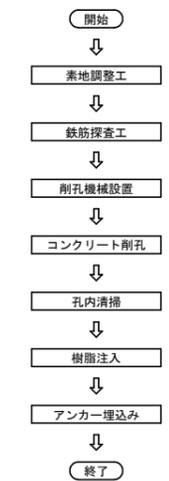
P3橋脚材料表(Fix) (1基当り)

名称	寸法	材質	単位	数量	備考
防蝕アンカー装置	F50D	S35CN SGP CRスポンジ 合成ゴム SR235	組	8	
防蝕材	□200X20	RDパッキン	枚	8	
アンカー削孔	φ60X510	コア削孔	箇所	8	

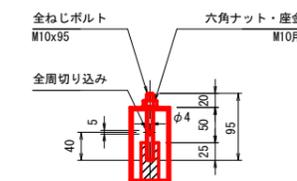
アンカーキャップ S=1:5



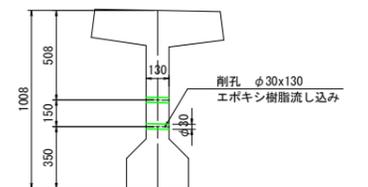
アンカー取付けフロー



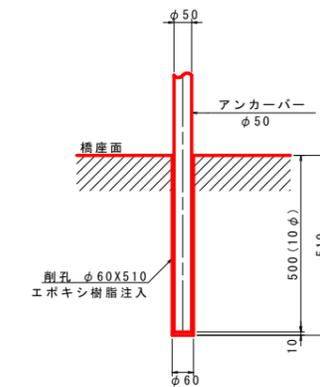
位置決めボルト取付図



主筋削孔位置図 S=1:20



支承補強アンカーバー S=1:10



1. 本図面は、既設資料および現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工する際は、既設の計測を行い、施工を行うこと。
3. 削孔する際は、既設鉄筋を切断しないように鉄筋探査を行うこと。
4. 既設コンクリートとの接合部は、下地処理としてチッピングを行うこと。
5. 鉄筋の埋込み長、定着鉄筋は鉄筋径の15倍、アンカーバーの上部工側は300mm以上かつ鉄筋径の6倍以上とする。下部工側は鉄筋径の10倍とする。
6. 鉄筋の削孔深さ、定着鉄筋は鉄筋径の15倍+10mm、アンカーバーは埋込み長+10mmとする。
7. 定着鉄筋、およびアンカーバーの削孔径は、鉄筋径+10mmとする。

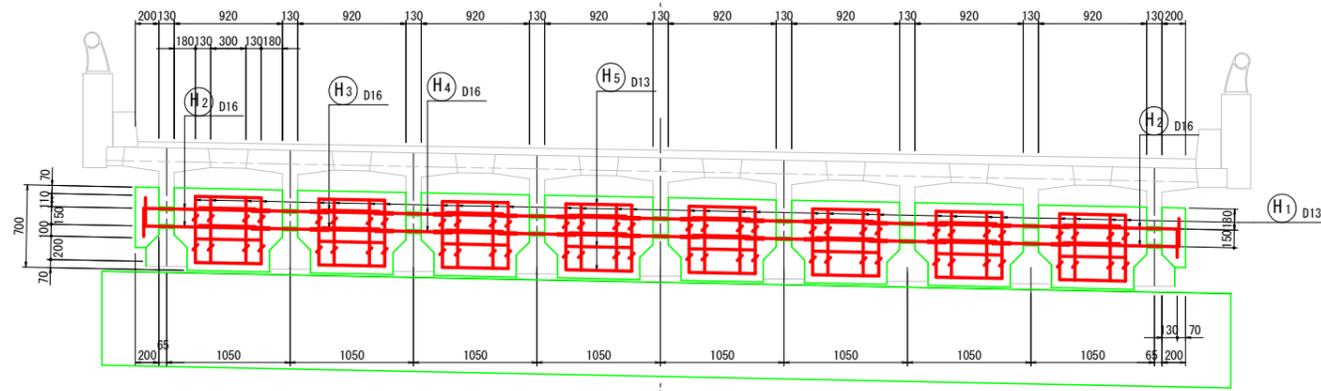
設計条件

名称	仕様	
	横桁増厚部	桁座幅部
設計基準強度	30 N/mm ²	24 N/mm ²
鉄筋種別	SD345	
鉄筋定着長	30φ	35φ

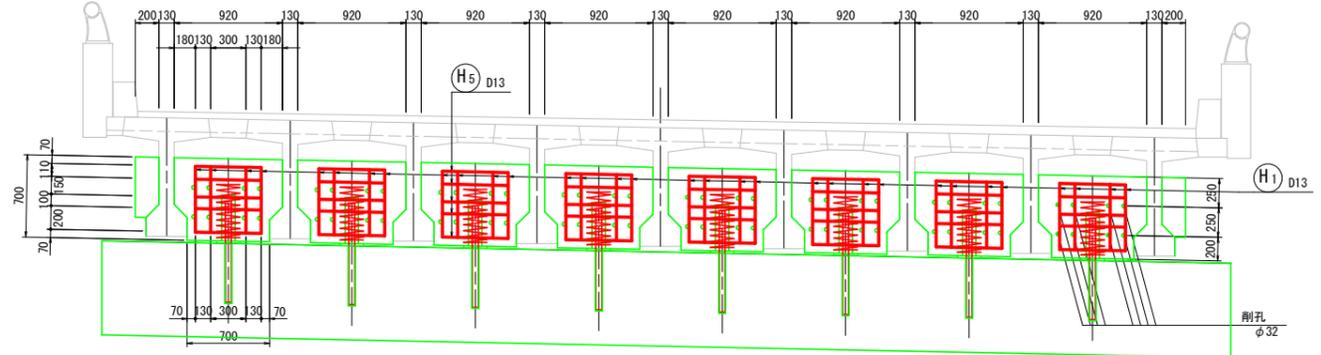
工事名	県道河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	支承補強 落橋防止システム構造図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	16 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁増厚配筋図(その1) (P3橋脚)

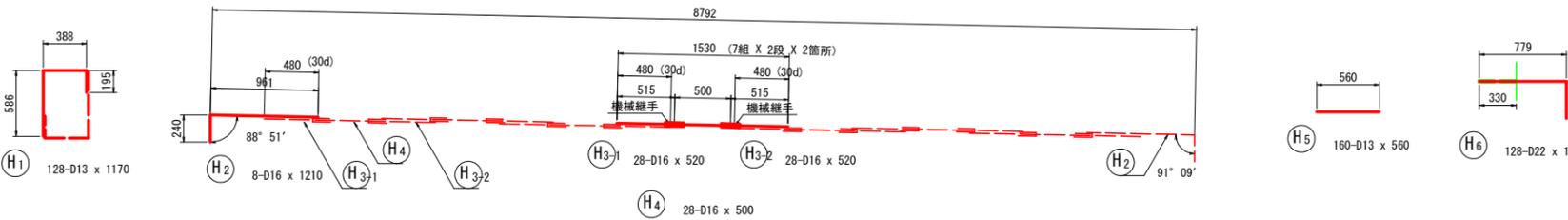
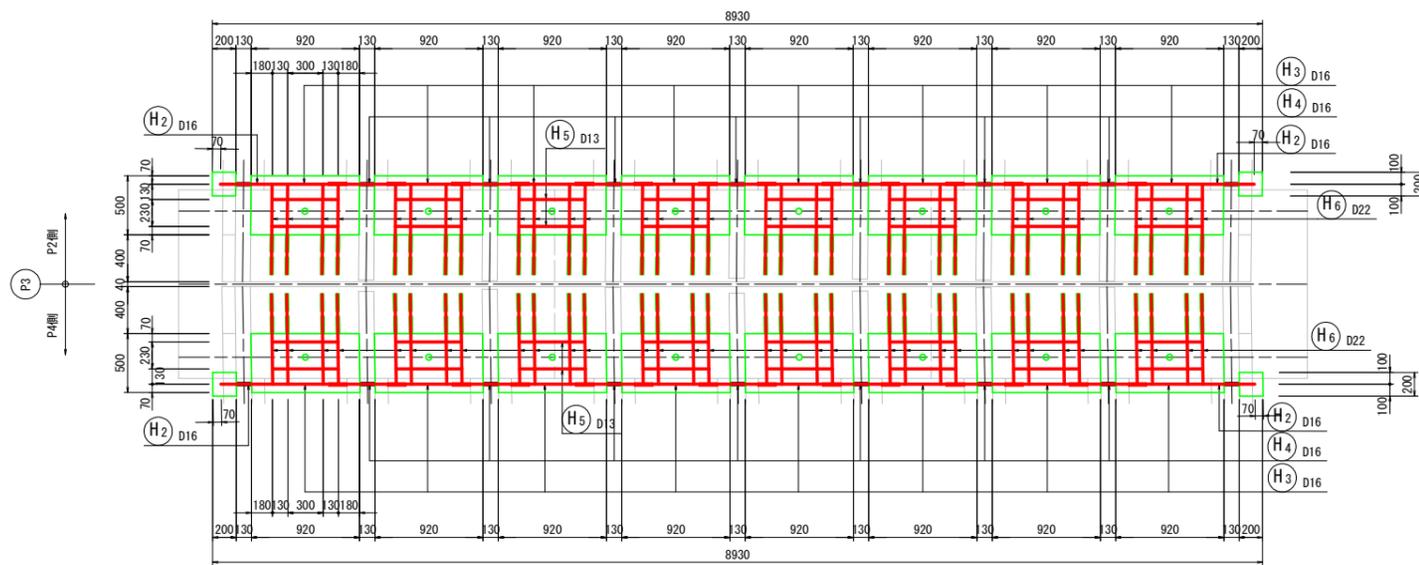
正面図
1-1



正面図
2-2

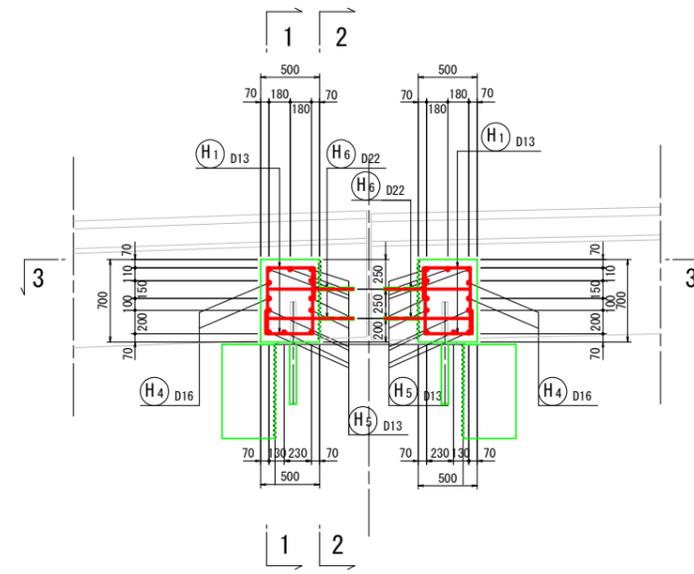


平面図
3-3



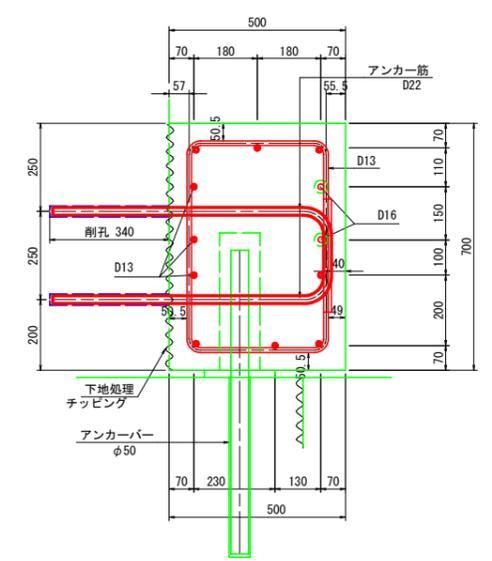
S=1:30

側面図
4-4

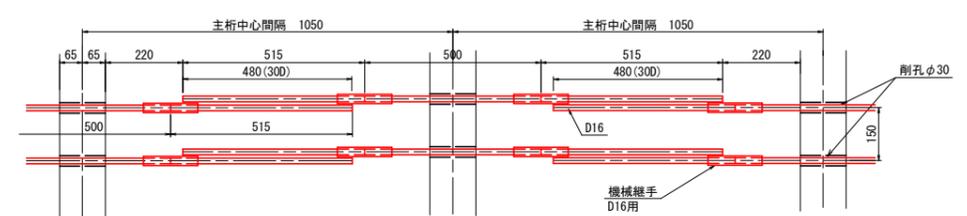


S=1:10

かぶり詳細図

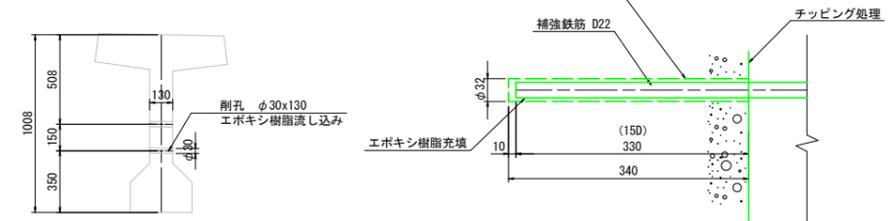


補強鉄筋組立詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5

主桁削孔位置図 S=1:20



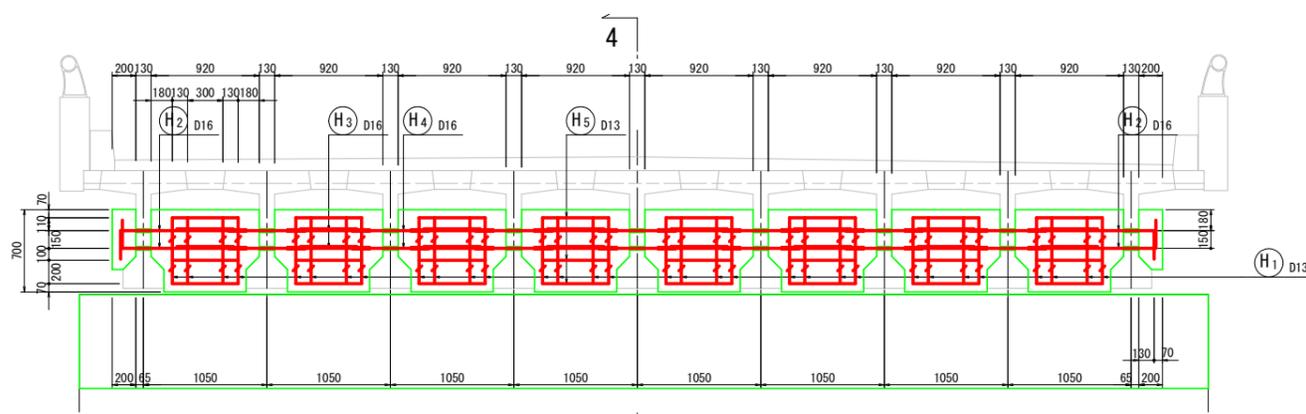
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H 1	D13	1170	128	0.995	1.16	148	┌
H 2	D16	1210	8	1.56	1.89	15	┌
H 3-1	D16	520	28	1.56	0.81	23	┌ (28)
H 3-2	D16	520	28	1.56	0.81	23	┌ (28)
H 4	D16	500	28	1.56	0.78	22	┌ (28)
H 5	D13	560	160	0.995	0.56	90	┌
H 6	D22	1110	128	3.04	3.37	431	┌
752 kg							
(機械継手箇所)							
合計				D22	431 kg		
				D16	83 kg	(56)	
				D13	238 kg		
総質量					752 kg	(56)	

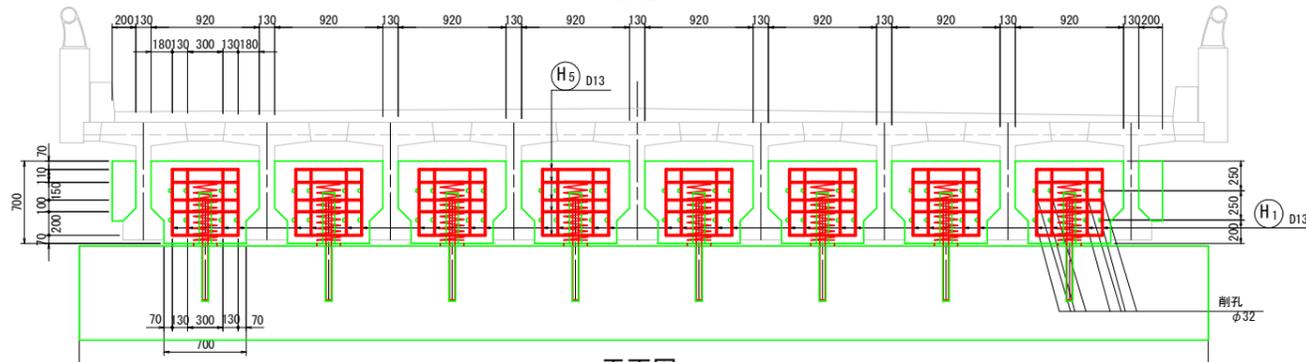
工事名	県道河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	横桁増厚配筋図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	19 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁増厚配筋図(その2) (P2橋脚)

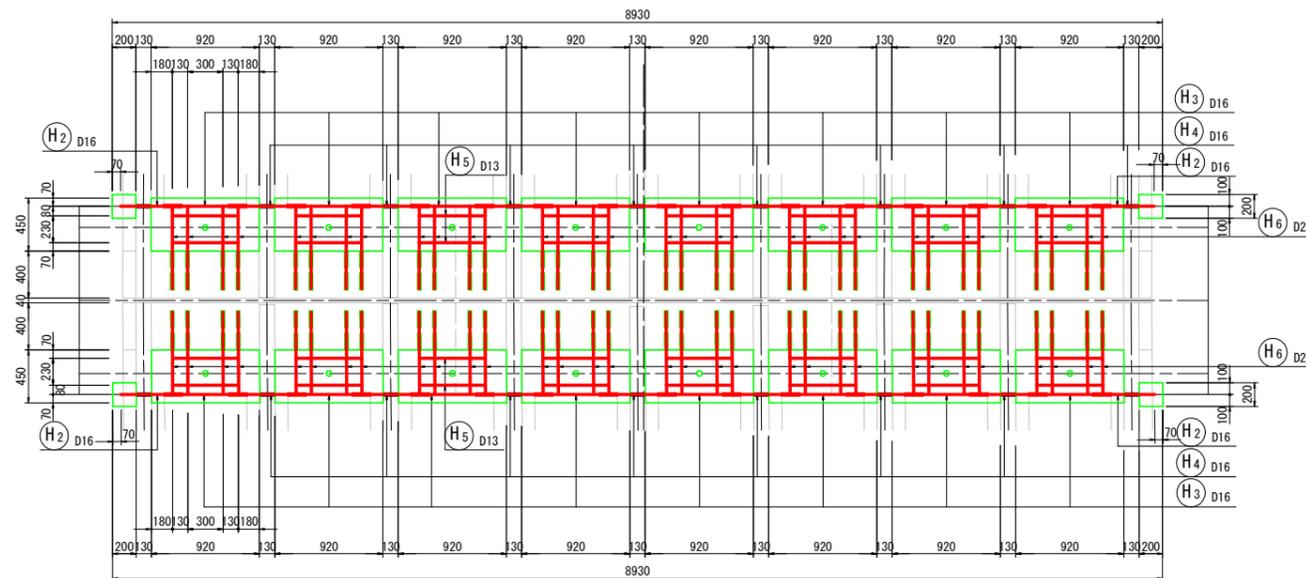
正面図
1-1



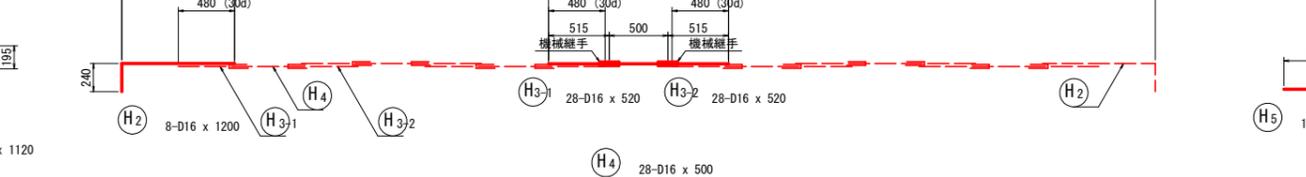
正面図
2-2



平面図
3-3

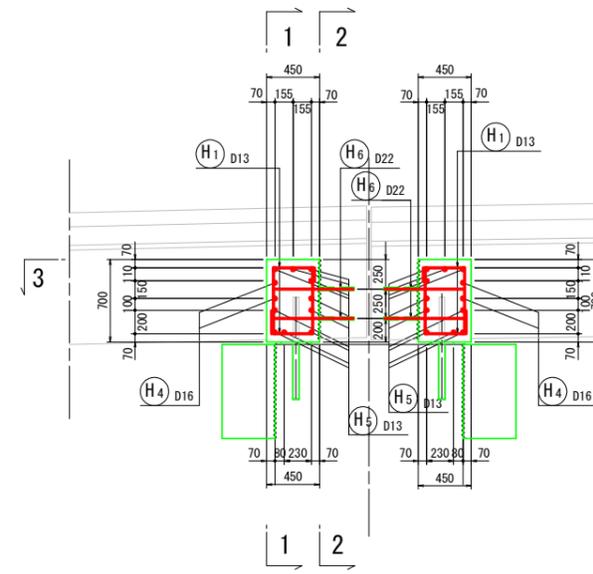


正面図
4-4

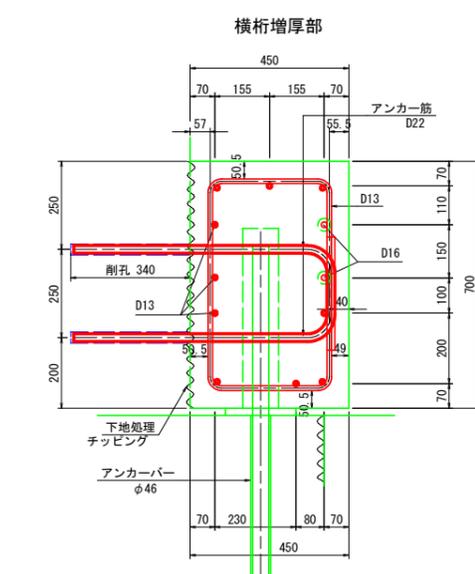


S=1:30

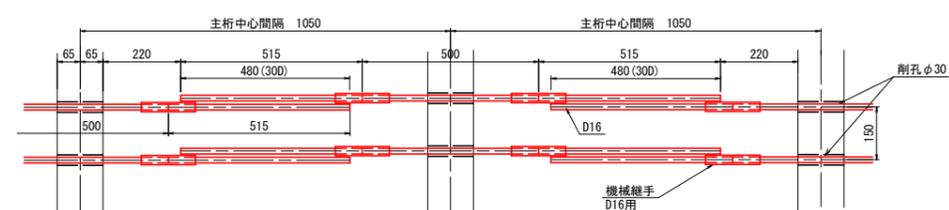
側面図
4-4



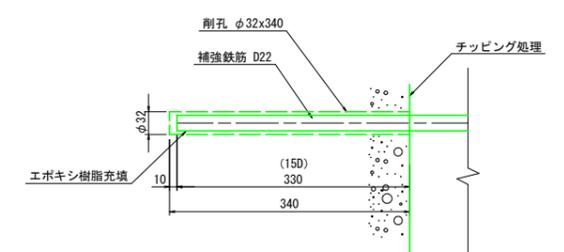
かぶり詳細図 S=1:10



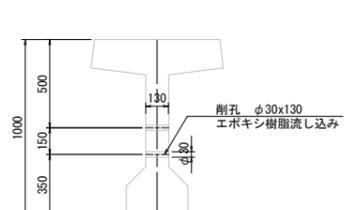
補強鉄筋組立詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5



主桁削孔位置図 S=1:20



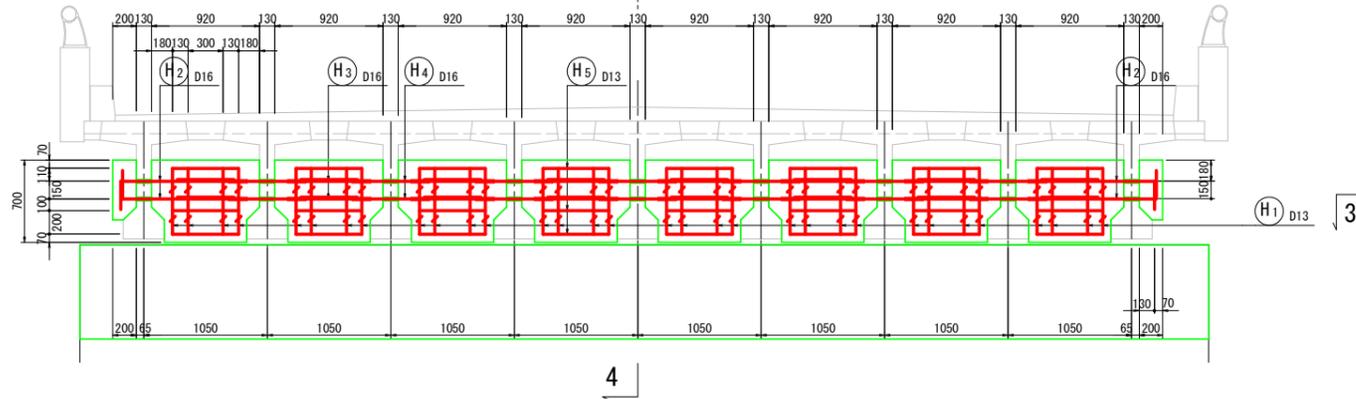
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H 1	D13	1120	128	0.995	1.11	142	┌
H 2	D16	1200	8	1.56	1.87	15	┌
H 3-1	D16	520	28	1.56	0.81	23	┌ (28)
H 3-2	D16	520	28	1.56	0.81	23	┌ (28)
H 4	D16	500	28	1.56	0.78	22	┌ (28)
H 5	D13	560	160	0.995	0.56	90	┌
H 6	D22	1060	128	3.04	3.22	412	┌
727 kg							
(機械継手箇所)							
合計 D22				412 kg			
D16				83 kg	(56)		
D13				232 kg			
総質量				727 kg	(56)		

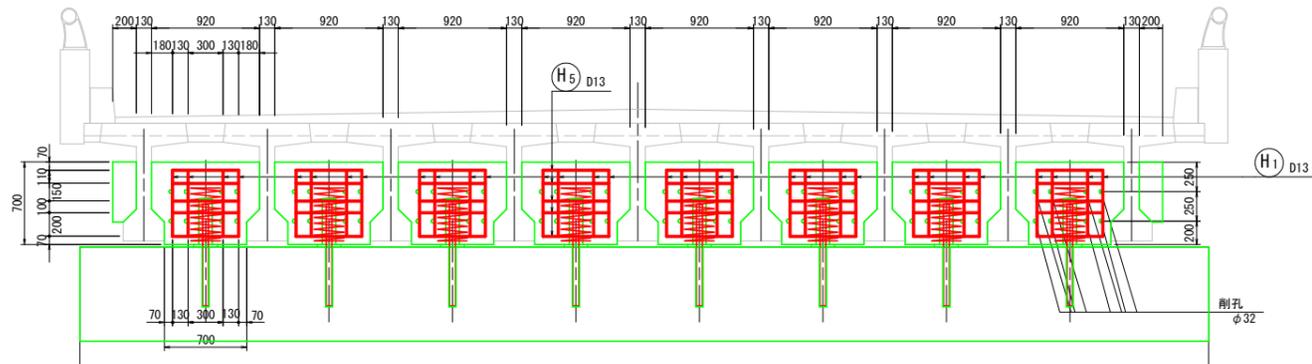
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	横桁増厚配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	20 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

横桁増厚配筋図(その3)
(P1橋脚 終点側)

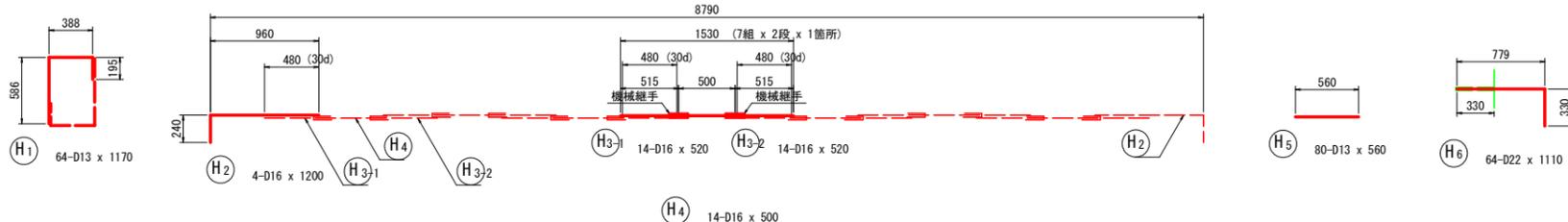
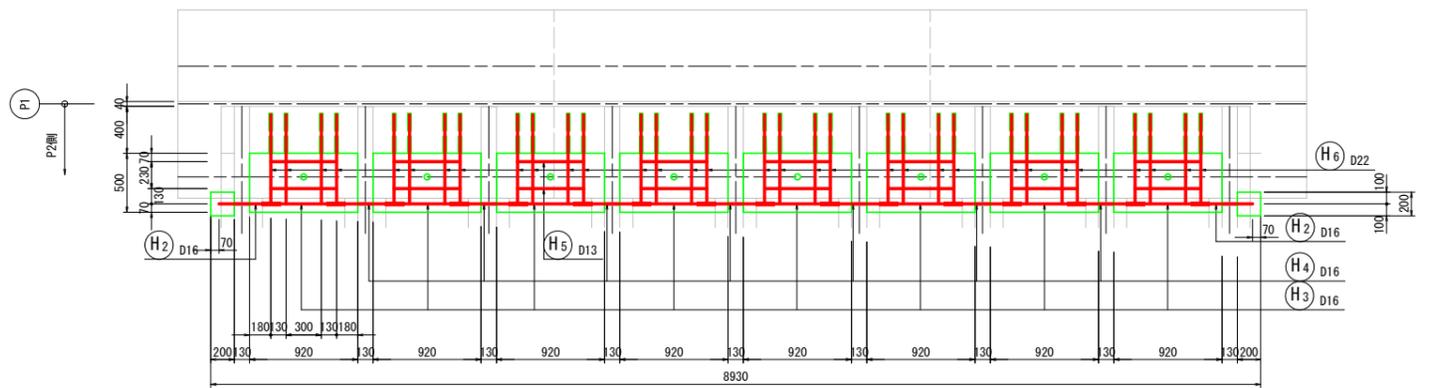
正面図
1-1



正面図
2-2

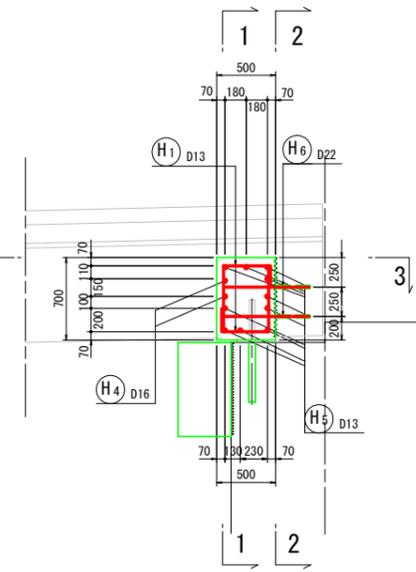


平面図
3-3

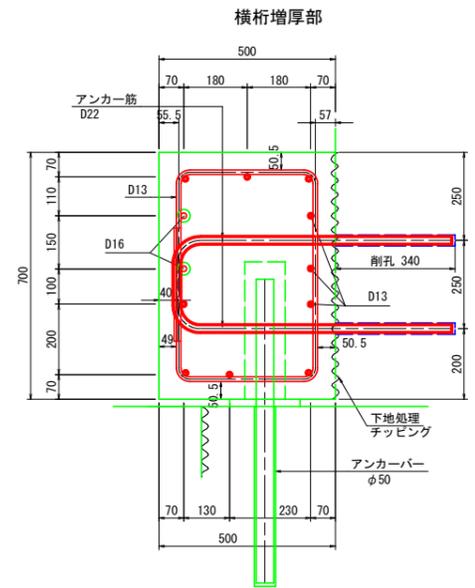


S=1:30

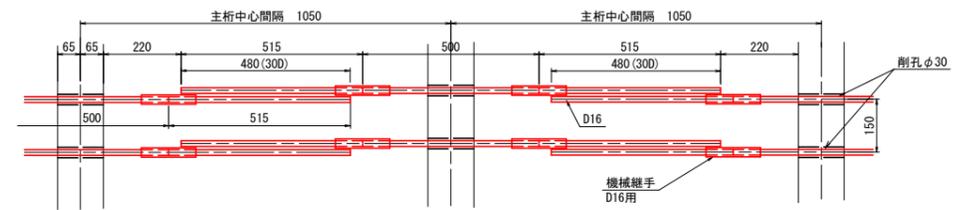
側面図
4-4



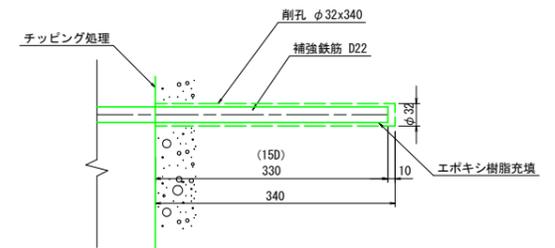
かぶり詳細図 S=1:10



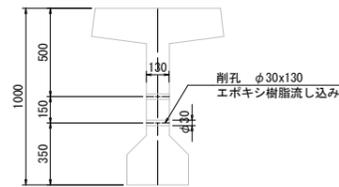
補強鉄筋組立詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5



主桁削孔位置図 S=1:20

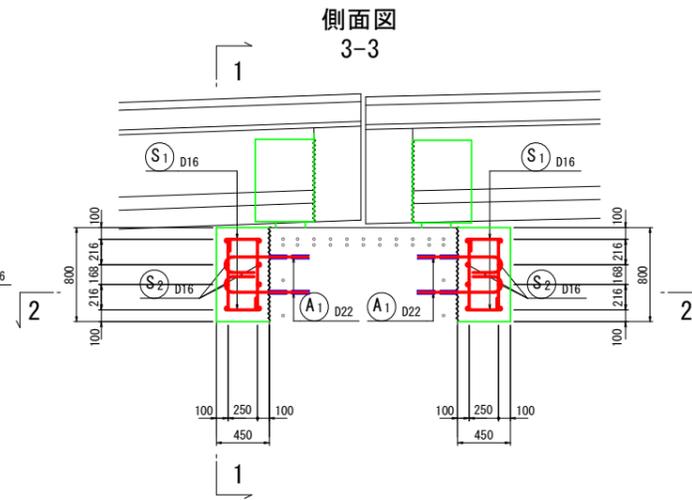
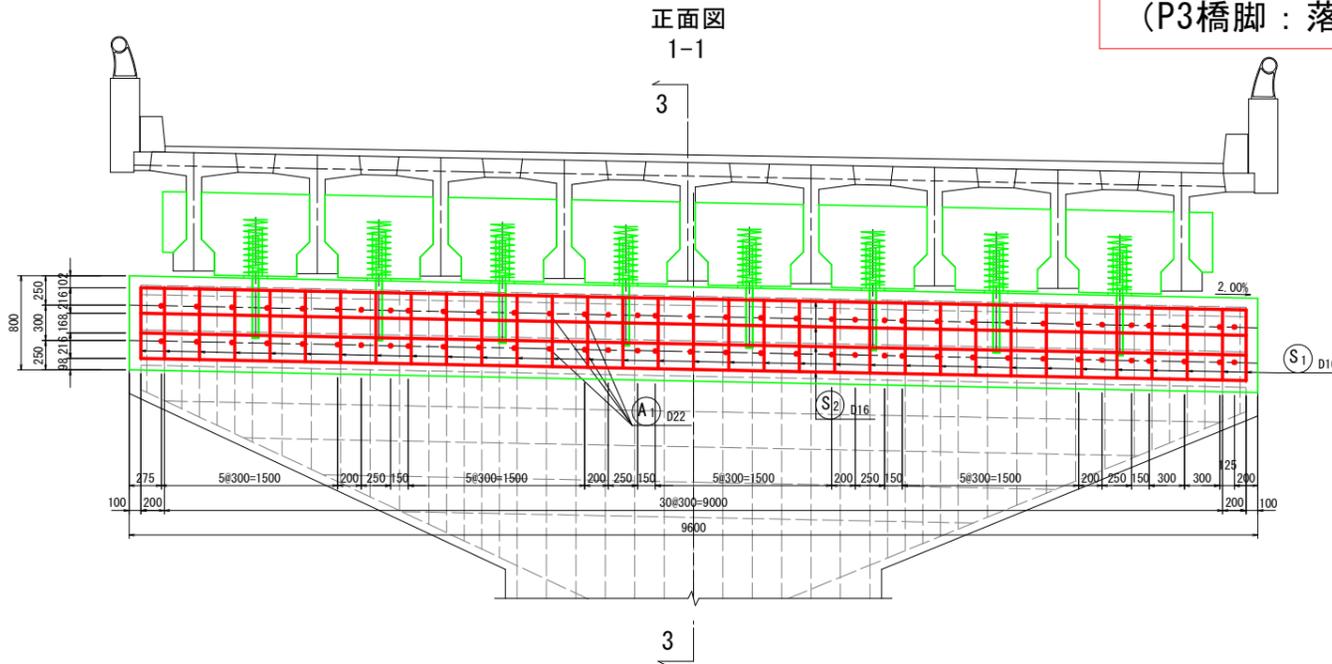


鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H 1	D13	1170	64	0.995	1.16	74	□
H 2	D16	1200	4	1.56	1.87	7	┌─┐
H 3-1	D16	520	14	1.56	0.81	11	— (14)
H 3-2	D16	520	14	1.56	0.81	11	≡ (14)
H 4	D16	500	14	1.56	0.78	11	≡ (14)
H 5	D13	560	80	0.995	0.56	45	—
H 6	D22	1110	64	3.04	3.37	216	┌─┐
375 kg							
(機械継手箇所)							
合計 D22				216 kg			
D16				40 kg	(28)		
D13				119 kg			
総質量				375 kg	(28)		

工事名	県道河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	横桁増厚配筋図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	21 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

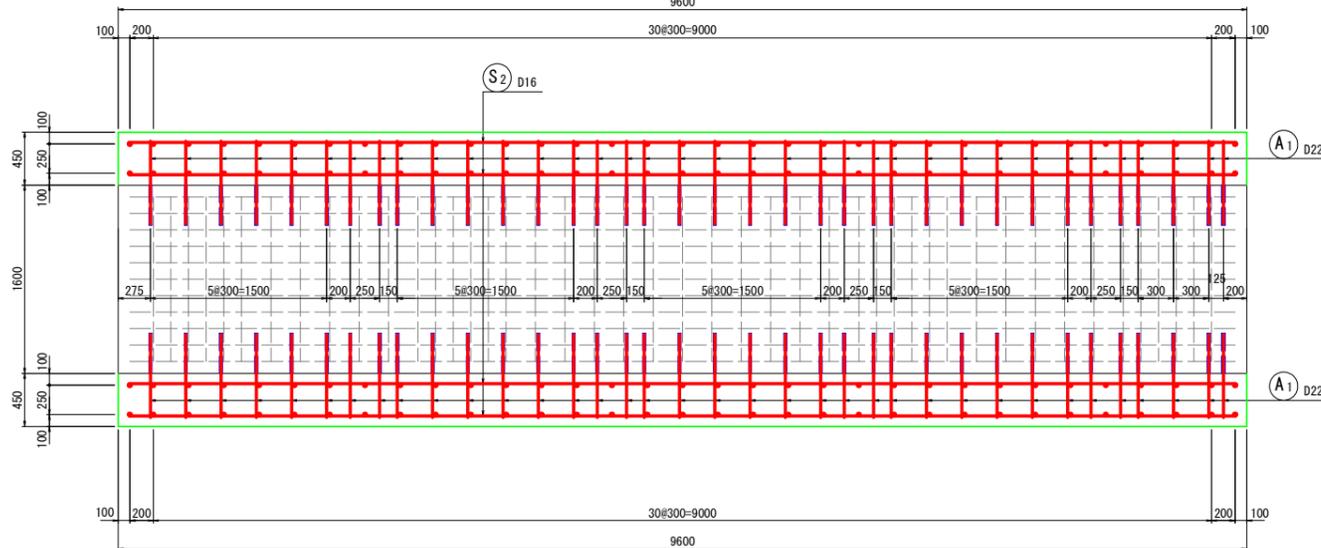
桁座拡幅配筋図(その1) S=1:30
(P3橋脚：落橋防止構造1.5SE)



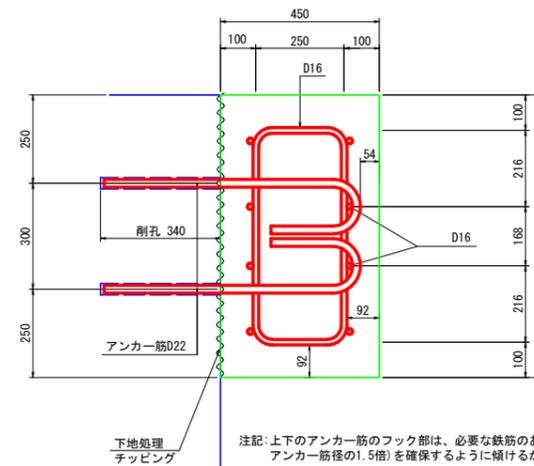
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A 1	D22	1040	144	3.04	3.16	455	⌒
							455 kg
S 1	D16	1050	132	1.56	1.64	216	┌
S 2	D16	9410	16	1.56	14.68	235	—
							451 kg
合計 D22						455 kg	
D16						451 kg	
総質量						906 kg	

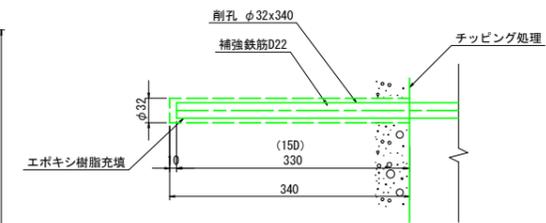
平面図 2-2



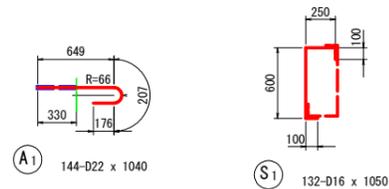
かぶり詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5

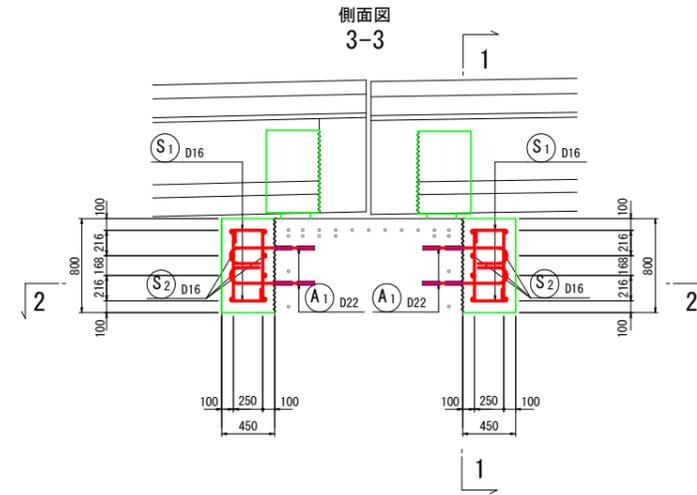
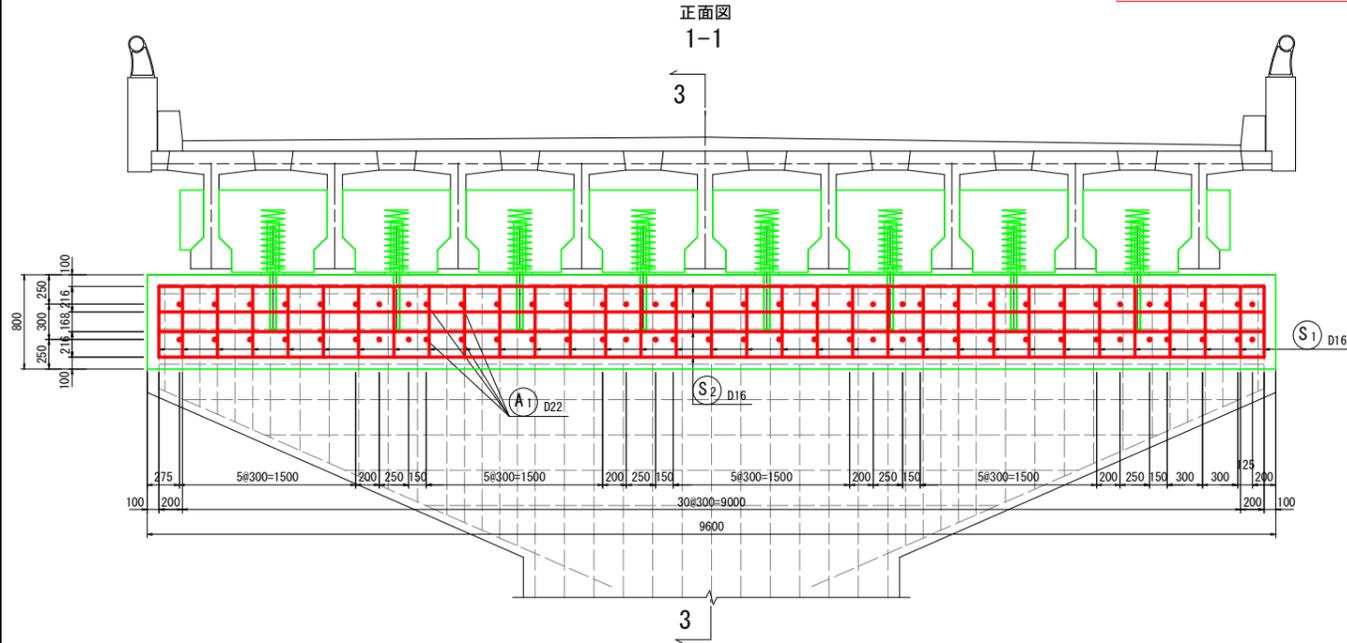


注記: 上下のアンカー筋のフック部は、必要な鉄筋のあき(縦骨材寸法の4/3、かつ、アンカー筋径の1.5倍)を確保するように傾けるか、左右にずらすこと。



工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	桁座拡幅配筋図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	22 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

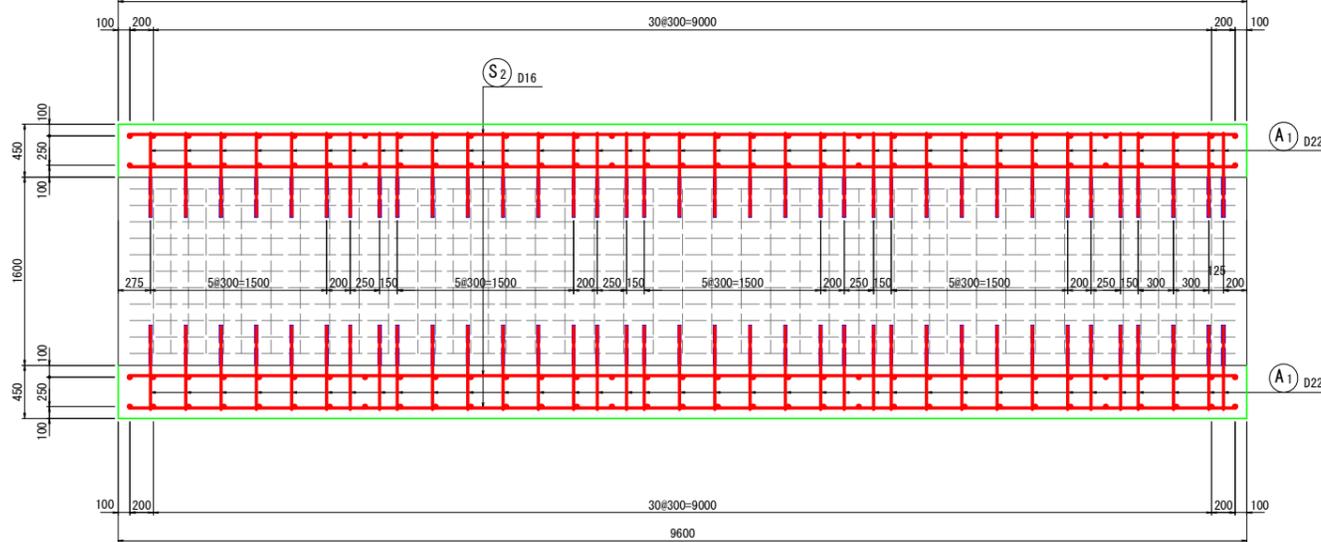
桁座拡幅配筋図(その2) S=1:30
(P2橋脚：落橋防止構造1.5SE)



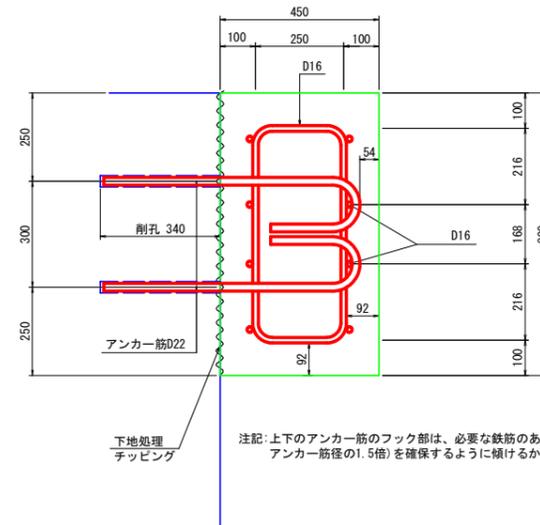
鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A 1	D22	1040	144	3.04	3.16	455	┌
							455 kg
S 1	D16	1050	132	1.56	1.64	216	┌
S 2	D16	9400	16	1.56	14.66	235	┌
							451 kg
合計				D22		455 kg	
				D16		451 kg	
総質量						906 kg	

平面図 2-2

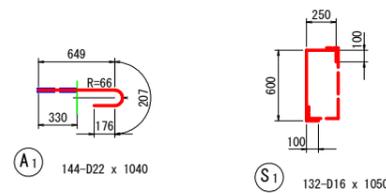
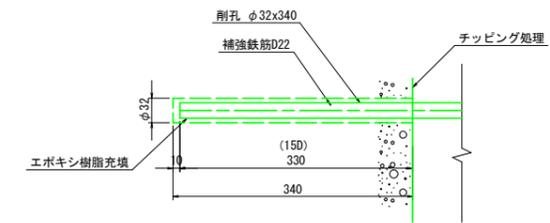


かぶり詳細図 S=1:10



注記：上下のアンカー筋のフック部は、必要な鉄筋のあき(粗骨材寸法の4/3、かつ、アンカー筋径の1.5倍)を確保するように傾けるか、左右にずらすこと。

削孔詳細図 S=1:5



A1 144-D22 x 1040

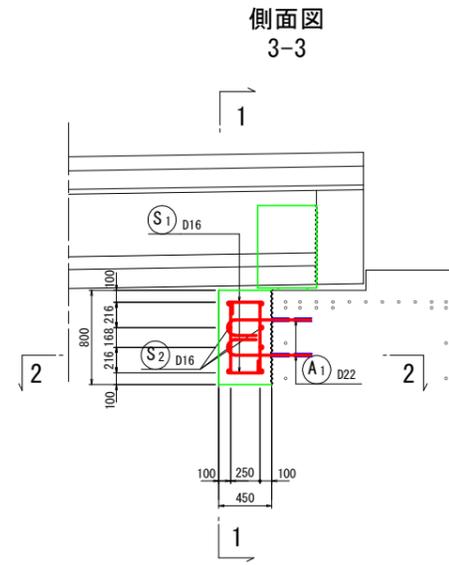
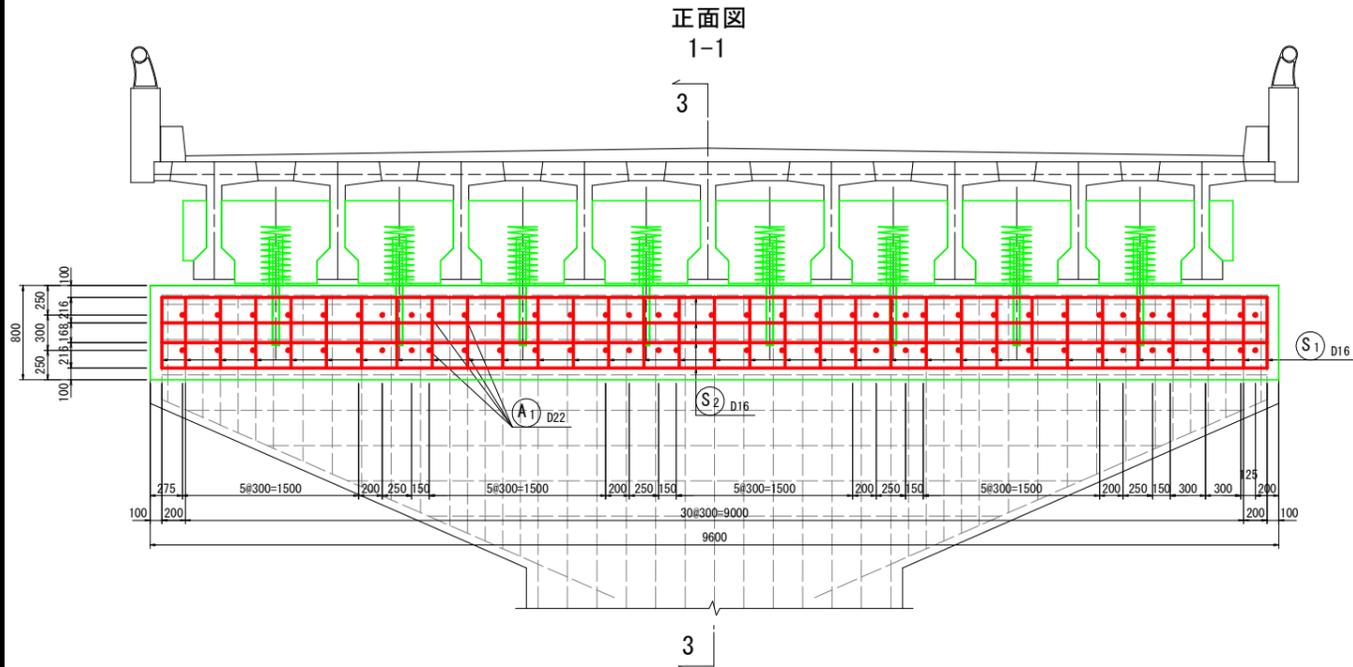
S1 132-D16 x 1050



S2 16-D16 x 9400

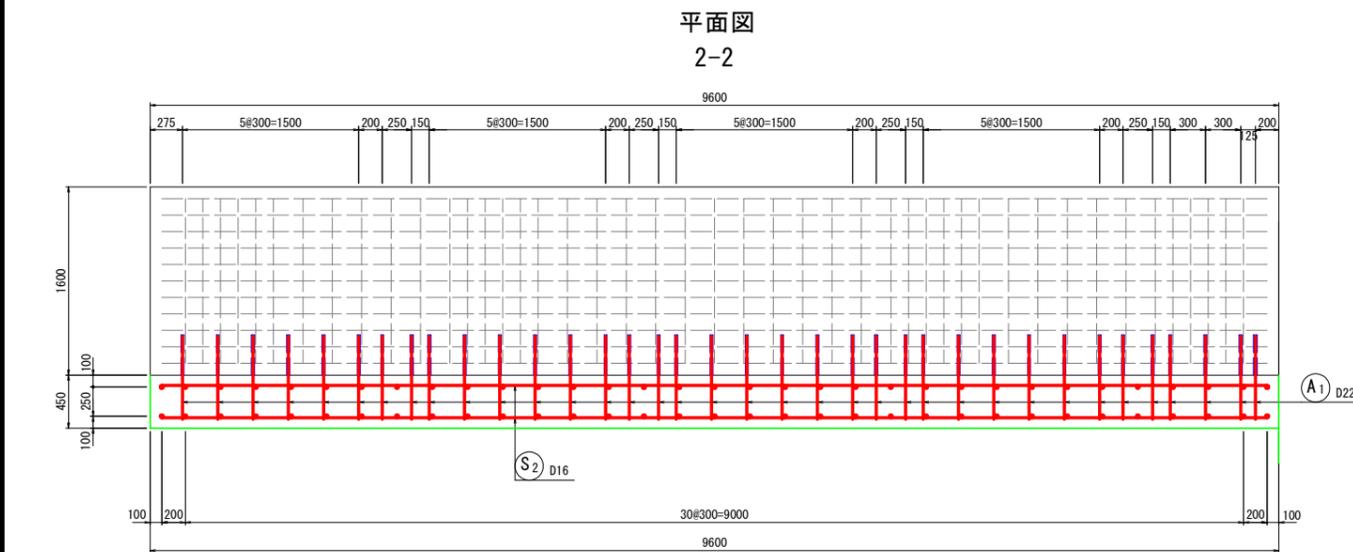
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	桁座拡幅配筋図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	23 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

桁座拡幅配筋図(その3) S=1:30
 (P1橋脚 終点側:落橋防止構造1.5SE)

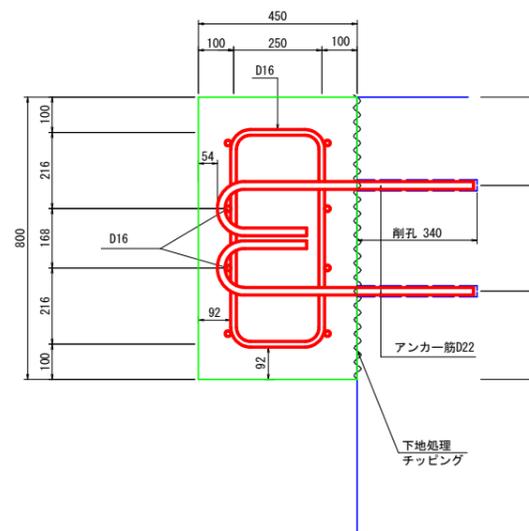


鉄筋質量表 (SD345)

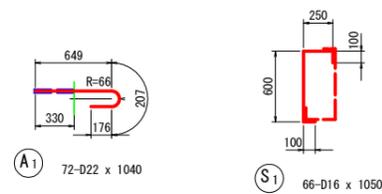
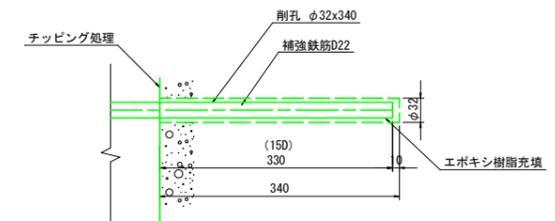
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
A 1	D22	1040	72	3.04	3.16	228	┌
228 kg							
S 1	D16	1050	66	1.56	1.64	108	┌
225 kg							
S 2	D16	9400	8	1.56	14.66	117	┌
225 kg							
合計 D22						228 kg	
D16						225 kg	
総質量						453 kg	



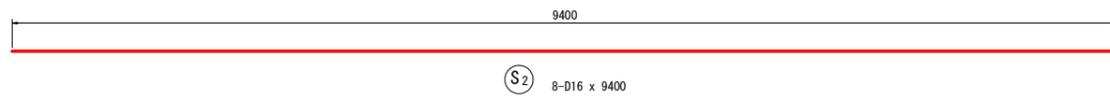
かぶり詳細図 S=1:10



削孔詳細図 S=1:5



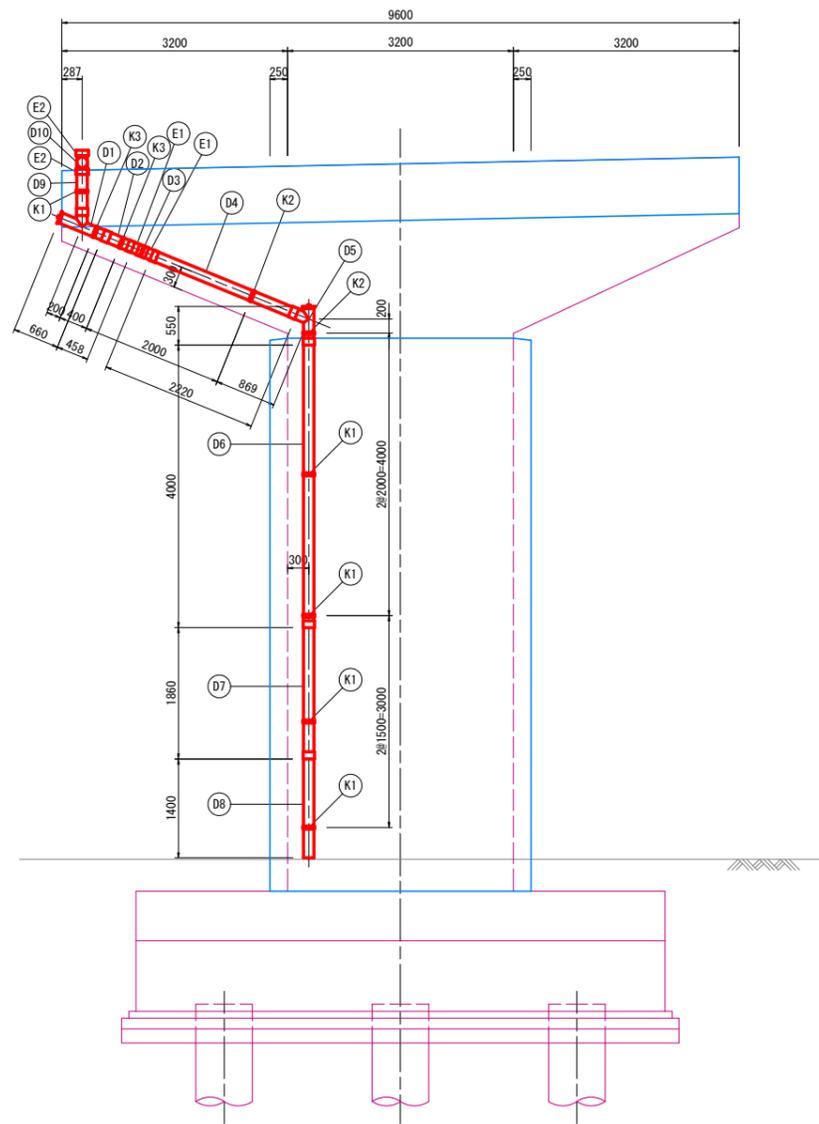
注記:上下のアンカー筋のフック部は、必要な鉄筋のあき(粗骨材寸法の4/3、かつ、アンカー筋径の1.5倍)を確保するように傾けるか、左右にずらすこと。



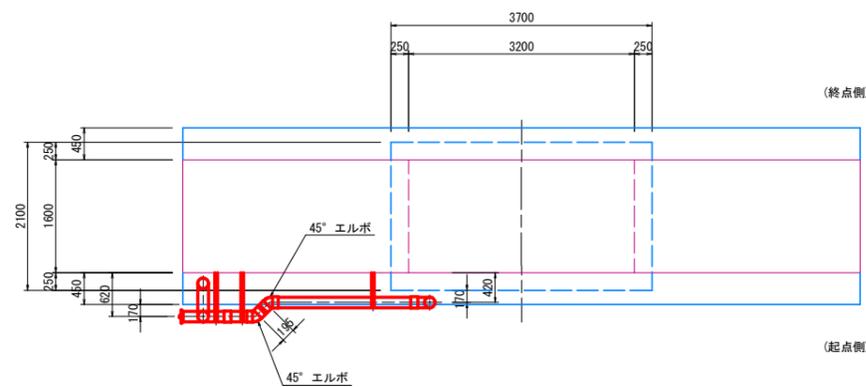
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋) 橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	桁座拡幅配筋図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	24 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

排水工詳細図(その1) S=1:50
 <P3橋脚>

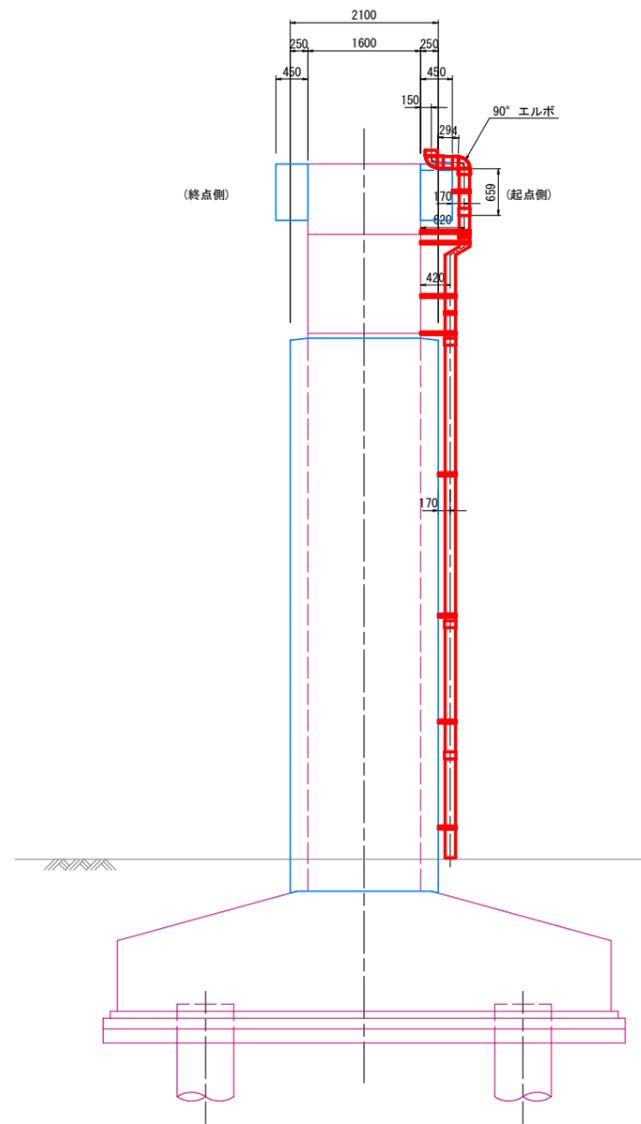
正面図(起点側)



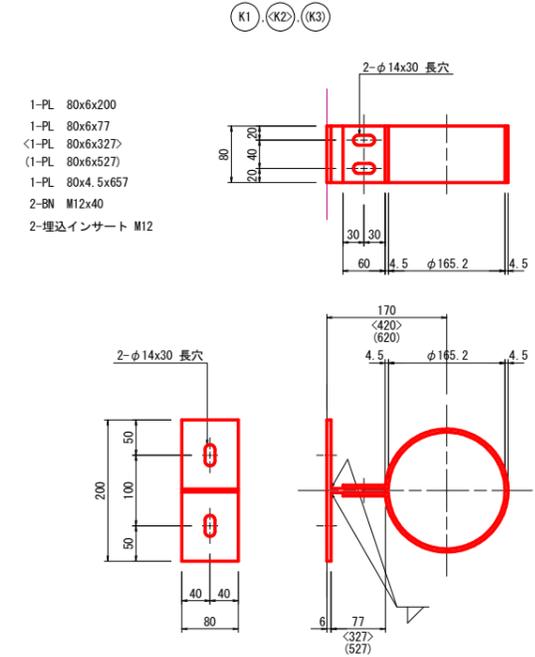
平面図



側面図



取付け金具 S=1:5



排水管材料表(1脚当り)

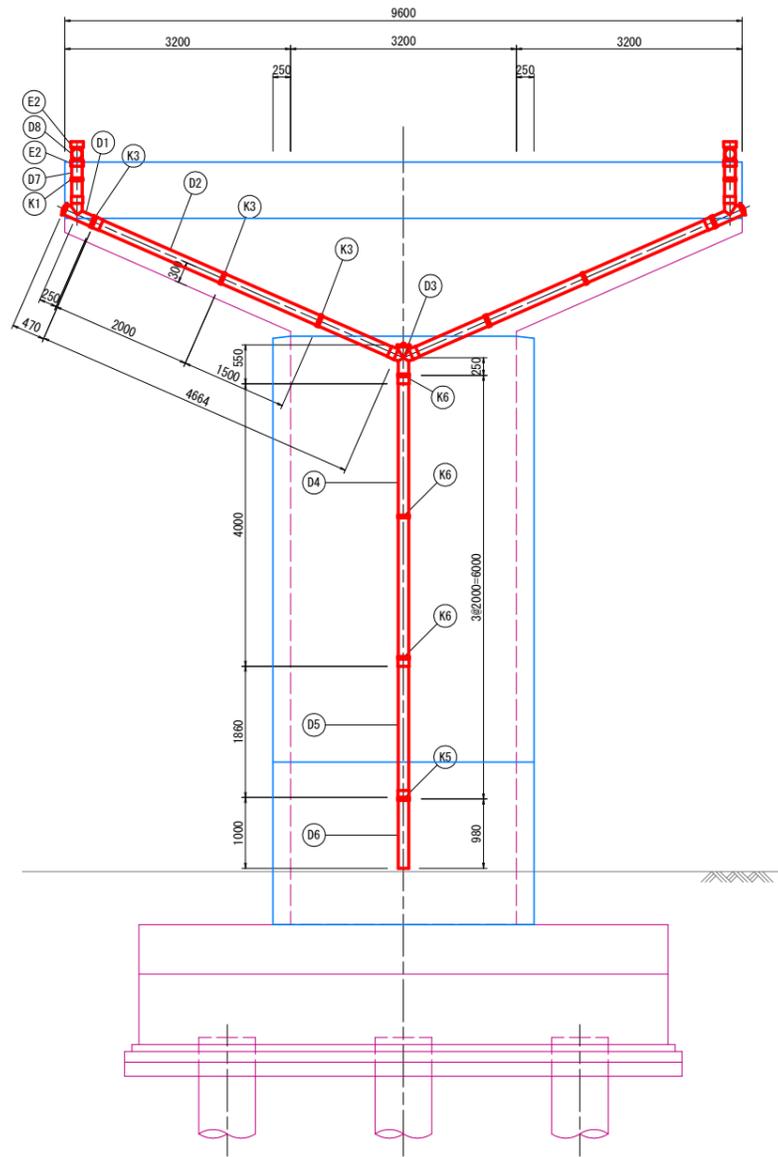
記号	規格・寸法	個数	備考
D1	VPT150x660	1	再利用
D2	VP150x458	1	新規
D3	VP150x195	1	"
D4	VP150x2220	1	"
D5	VPT150x550	1	再利用
D6	VP150x4000	1	"
D7	VP150x1860	1	"
D8	VP150x1400	1	"
D9	VP150x659	1	新規
D10	VP150x294	1	"
E1	45° エルボ	2	"
E2	90° エルボ	2	"
K1	取付け金具	5	"
K2	取付け金具	2	"
K3	取付け金具	2	"

注) 1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
 2. 全て溶融亜鉛メッキとする。
 3. PL類亜鉛メッキHDZ55とし、ボルト類は亜鉛メッキHDZ35とする。

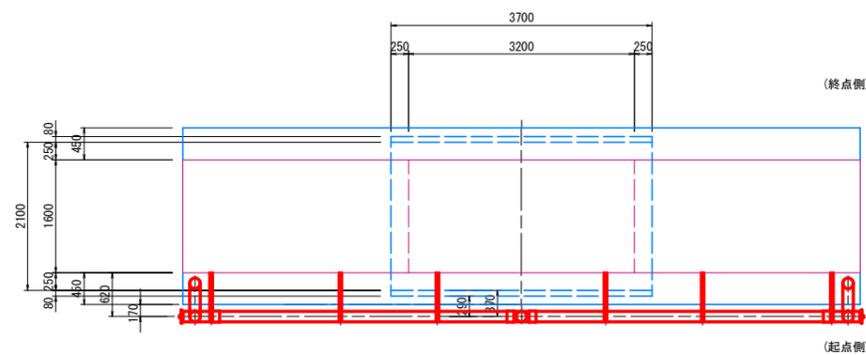
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	排水工詳細図(その1)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	25 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

排水工詳細図(その2) S=1:50
 <P2橋脚>

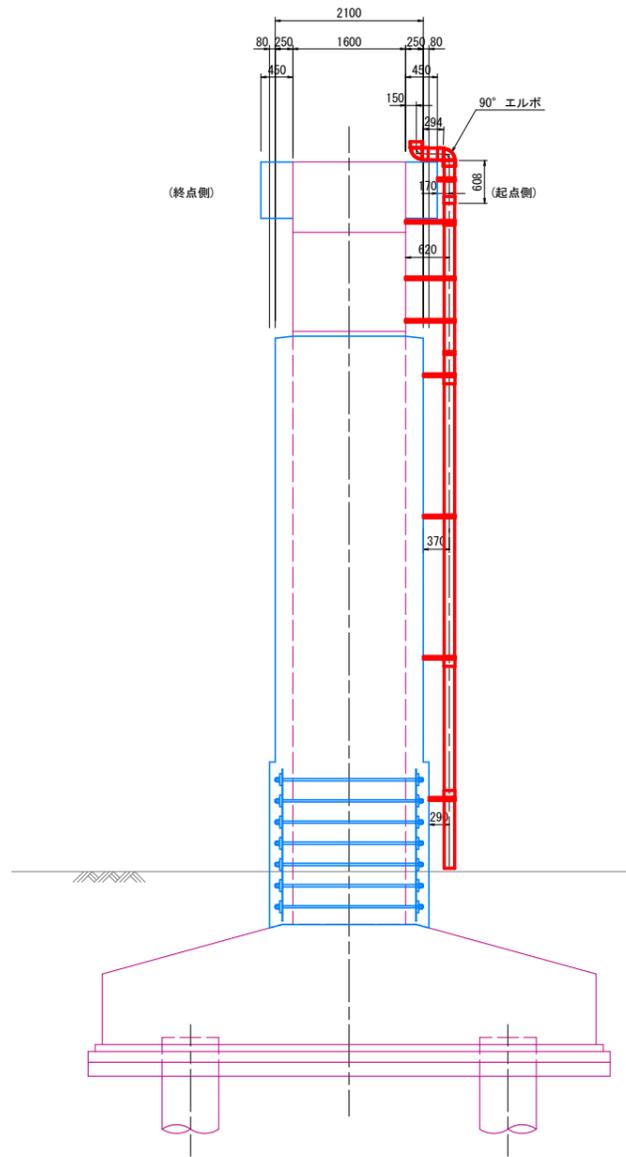
正面図(起点側)



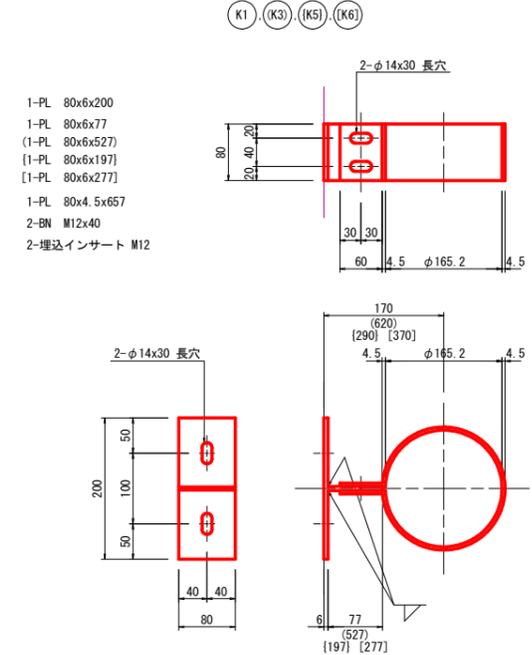
平面図



側面図



取付け金具 S=1:5



排水管材料表(1脚当り)

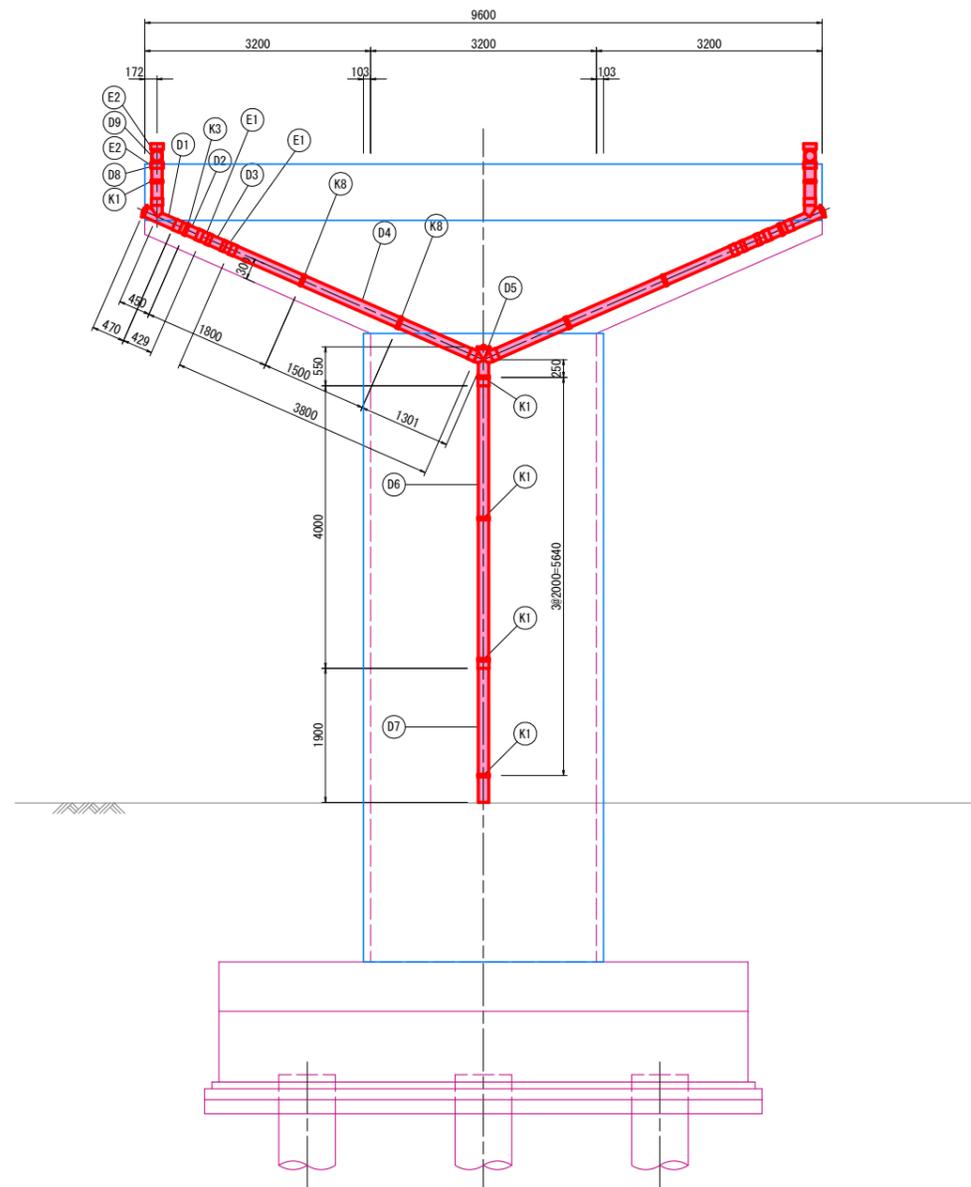
記号	規格・寸法	個数	備考
D1	VPT150x470	2	再利用
D2	VP150x4664	2	"
D3	VPT150x550	1	"
D4	VP150x4000	1	"
D5	VP150x1860	1	"
D6	VP150x1000	1	"
D7	VP150x608	2	新規
D8	VP150x294	2	"
E2	90° エルボ	4	"
K1	取付け金具	2	"
K3	取付け金具	6	"
K5	取付け金具	1	"
K6	取付け金具	3	"

注) 1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
 2. 全て溶融亜鉛メッキとする。
 3. PL類亜鉛メッキHDZ55とし、ボルト類は亜鉛メッキHDZ35とする。

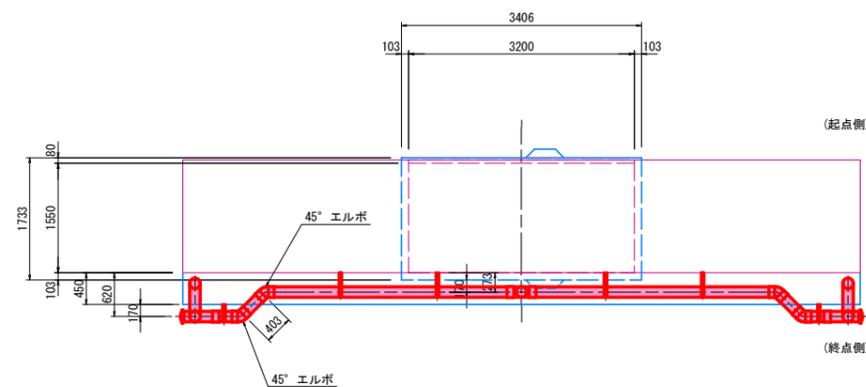
工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	排水工詳細図(その2)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	26 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

排水工詳細図(その3) S=1:50
 <P1橋脚>

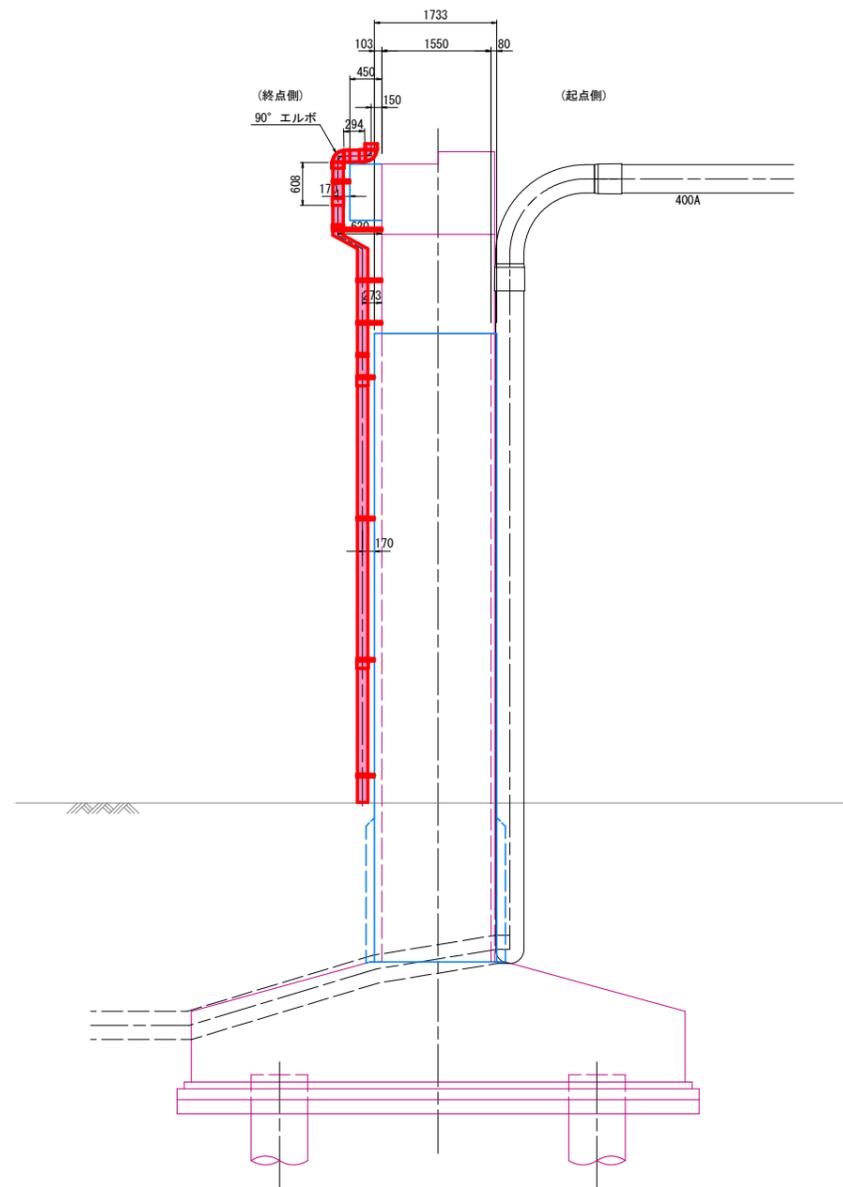
正面図(終点側)



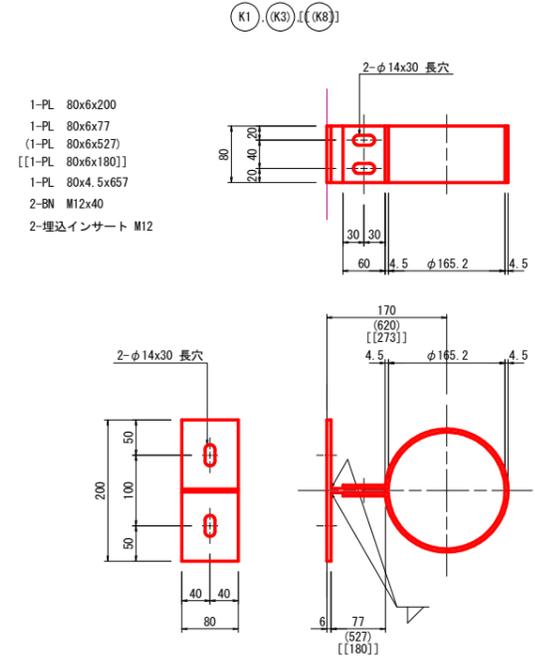
平面図



側面図



取付け金具 S=1:5



排水管材料表(1脚当り)

記号	規格・寸法	個数	備考
D1	VPT150x470	2	再利用
D2	VP150x429	2	新規
D3	VP150x403	2	"
D4	VP150x3800	2	"
D5	VPT150x550	1	再利用
D6	VP150x4000	1	"
D7	VP150x1900	1	"
D8	VP150x608	2	新規
D9	VP150x274	2	"
E1	45° エルボ	4	"
E2	90° エルボ	4	"
K1	取付け金具	6	"
K3	取付け金具	2	"
K8	取付け金具	4	"

注) 1. 特記なき材質はすべてSS400とする。
 2. 全て溶融亜鉛メッキとする。
 3. PL類亜鉛メッキHDZ55とし、ボルト類は亜鉛メッキHDZ35とする。

工事名	県道寒河本庄岡山線(金岡高架橋)橋梁耐震補強工事(7-1)		
図面名	排水工詳細図(その3)		
作成年月日			
縮尺	図示	図面番号	27 / 28
会社名			
事業者名	岡山市都市整備局道路部道路予防保全課		

